

14-21
507

調查彙報第一號
地產問題對技術者意見



始



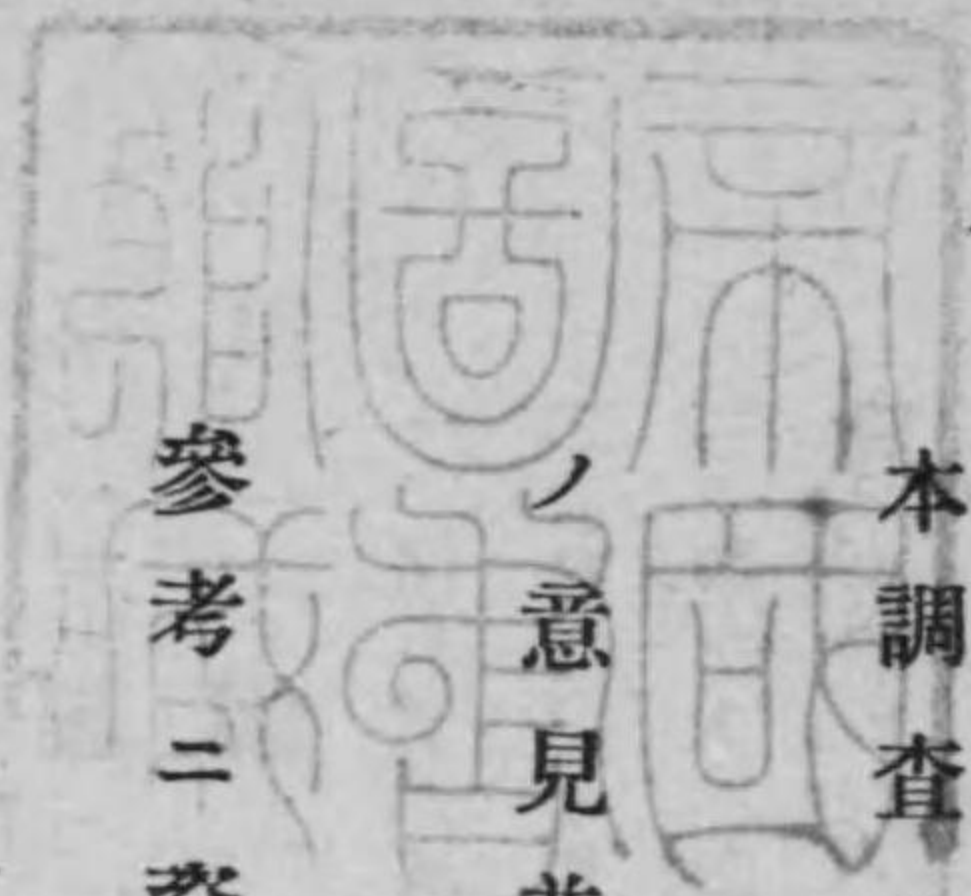
調査彙報第二號

地主問題
スニ對スル技術者ノ意見

納本

新潟縣農會

142_h-507



緒言

本調査ハ地主小作問題ニ關スル縣下農業技術者

ノ意見並縣下地主現在ノ施設ヲ蒐錄印刷ニ付

參考ニ資セントス

大正十一年五月

新潟縣農會

大正
11. 5. 27
内交

目次

第一編	意	見
第二編	本縣下地主現在ノ施設	
第二編	本縣農事統計	
一、	總戶數及專業並兼業各農家戶數表	七五
二、	自作、小作及自作兼小作農家戶數表	七六
三、	耕作スル田畑ノ廣狹ニヨリ區別シタル農家戶數表	七七
四、	田畑所有ノ廣狹ニ依リ區別シタル農家戶數表	九八
五、	自作田畑小作田畑ノ反別表	七九

第一編 意 見

近來世間ニ頻發スル地主對小作人爭議問題ハ國家ノ爲メ誠ニ遺憾ノ次第テアル元來地主小作人ノ關係ハ親子ノ觀念無クテハナラヌ然ルニ之レカ爭議ヲ生セシムルハ其責任兩者ニアリ故ニ地主小作人トモ以前ノ事情ヲ省ミ地主ニ於テハ舊來ノ慣習ヲ去リ小作人ハ土地ノ價格ヲ向上シ良米ヲ納ムル勤勞者ナリト信シ之レニ對スル方作ヲ講シ出來得ル丈ケ便宜ヲ與ヘ且ツ小作ノ收得米ヲ多カラシメ勞銀ノ高騰肥料代ノ騰貴ヲ考思シ相當ノ免引ヲ爲スヘク亦タ小作人ニ於テハ自個ノ家計ヲ安然ナラシムル根底ハ地主ノ恩惠ナリト信シ出來得ル丈ケ多ク肥料ヲ施シ且ツ郡村ノ獎勵スル合理的栽培法ヲ行ヘ多額ノ收穫ヲ收メ地主ヲシテ安シテ耕地ヲ依托セシムルニ至ラバ之レガ解決ハ至難ノ事ニ非スト信ズ然ルニ不良小作人ハ近來思想界ノ變遷ニヨリ惡思想ノ浸入セル機會ニ乘シ從來ノ收益不足ヲ云云シ以テ出來得ル丈ケ自個ノ利益ヲ増進セントスルニ努メ甚シキニ至ツテハ良小作人迄ヲ強誘シ結合シテ地主ニ紛争ヲ申込ムガ如キハ實ニ言語同斷ノ行爲ト云フベキテアル以上ノ理由ナルヲ以テ將來之レガ解決ニ努ムベキ方法トシテハ兩者ノ自覺ヲ促スベキ相當ノ方法ヲ講ジ其ノ融和ニ努メザルベカラズ本郡ニテハ幸ニシテ斯ル問題起ラズ勿論之レガ防禦策トシテ地主會ハ小作人表彰、引免協定、勘米全廢、並上米以上ニ賞與米等ヲ交付シ以テ小作人ヲ愛護シ又タ小作者ニ於テモ質朴ニシテ良ク地主ヲ尊重シ出來得ル丈ケ增收ニ努メ又タ地主ヘ納米ノ如キモ良米ヲ納ムベク努力シ縣下ニ於テ納米ノ造リ替リ爲スガ如キハ殆ンド耳ニセズ尤モ本郡小作人ノ收得米ハ大部分地主ト切半ノ狀態ナルモ近來圃地栽培獎勵

ノ結果地主ノ收得ヨリ多キコト一倍著シク二倍以上ノ收米ヲ得ル者頻發シ爲メニ小作地愛護心一層高上セルノ傾向アリ、併シ本年ハ信越水電並ニ鐵道省事業ノ水路工事等ノ爲メ勞力ノ缺乏ヲ告ゲタル結果比較的利益少ナキ耕地ニ對シ地主ヘ返納スル者多小無キニ非ラズト雖モ地主ハ之レニ對シ相當引免ヲ與ヘ居ル地方ハ下船渡村並ニ中潟見村等ナリシモ該事業ハ三四年ニテ完了スル豫定ナルヲ以テ懸念スベキ事ニ非ズト信ズ勿論世間ニ起ル該問題ガ一般ニ惡思想ヨリ來ル者トスレバ今回ノ爭議ガ或ハ將來圓滿ヲ來ス動機トナルヤモ知レヌト推想スルモノナリ

二

小作問題ニ對スル愚見總括セバ左ノ如シ

- 一、現時ノ地主小作問題ハ經濟的及感情的原因ノ外更ラニ一種被煽動的ノモノアリ而シテ前二種ノ原因モ其動機ニヨリテ形成シ後幾多ノ曲折ヲ經テ經濟的ニ或ハ感情的ニ進ミタルモノ多シ
- 一、之レガ善後策ニ就テハ法律ノ制定元ヨリ必要ナルモ地方的ニ舊來禮儀慣習アリ故ニ全國一樣ニ律スルコト能ハザルヲ以テ之レガ解決ハ第一次ヲ農會トシ町村農會ヲシテ地主小作問題ヲ解決スベキ特別委員會ヲ設ケシメ此委員會ニ於テ解決シ能ハサル時ニ於テ審判所ヘ持出スガ如キ制度ニスルヲ要ス
- 一、地主ノ温情元ヨリ必要ナリト雖モ今日ハ地主ノ温情ノミニヨリ小作ヲ導クベキノ時代ニ非ズ故ニ小作者ヲシテ農業ノ業態ヲ能ク理解セシムルト同時ニ利益ノ分配ニモ注意シテ自立ノ道ヲ得セシムルコト

ヲ計ラザルベカラス

- 一、地主ハ場合ニヨリ或ハ小作ヲ見ル事恰モ奴隸的ニ其人格ヲ認メサル者ナキニ非ズ之レ大ニ他ノ煽動ノ乘ズ易キ原因ヲナシ感情の反抗ヲ試ミルニ至ル所以ナリ效ニ地主ハ小作者ノ人格ヲ認メ所有ノ土地ハ此人格者ニヨリテ初メテ眞價ヲ發揮スルモノナリトノ感念ヲ以テ常ニ冠婚葬祭其他疾病等ノ場合ハ地主自ラ之レヲ訪問スルガ如キ慣習ヲ作ルヲ要ス
 - 一、地主ハ常ニ自己小作ノ經濟狀態ヲ調査シ一家經濟上ノ缺點ヲ補フベキ忠言ヲ加フル事ニ注意スベシ
 - 一、地主ハ小作ニ餘剩勞力多キヲ認メナバ適切ナル副業ノ施設ヲナスベシ
 - 一、地主ハ常ニ小作者ノ生活ノ向上ヲ計ルト共ニ一面貯蓄ヲ獎勵將來自作農ヲラシムル事ニ努ムルコト
- 以 上

三

地主小作問題ハ經濟方面、社會方面、思想方面カラ勞働問題並ニ思想問題ト關聯シテ變化ハアルコト、思ハレマス、地主ノ無自覺小作者ノ妄動ハ或ハ急進セムトモ限リマセヌ、此ノ問題ハ誤解、人氣、頑迷、地主ノ無能、小作ノ惡棘ガ起因シテ居テ一樣ニハ論ゼラレマセヌガ直接ニハ小作人ノ小作料輕減要求ニ對スル地主ノ拒絶ニ基クモノデアलगソノ間接ノ原因トシテハ甚ダ複雑ナモノガアル

- 一、小作料ガ漸次引キ上ゲラレタルコト

- 二、經濟思想ノ發達ニヨリ小作人ガ利益計算等ニ氣付キタルコト
 - 三、物價ノ騰貴ニ因リ小作經營ニ多クノ生産費ヲ要スルニ至リタルコト
 - 四、地主、小作歩合ノ均等ヲ缺キ居ルコト
 - 五、小作人ノ生活ノ向上ニ因リ支出ヲ多ク要スルニ至リタルコト
 - 六、思想ノ變化ニ因リ地主ニ對スル尊敬ノ念ノ薄ラギタルコト
 - 七、軍隊、小學校等ニ於テ小作人ノ子弟モ地主ノ子弟モ平等ニ取扱ハル、所謂平等觀念ノ發達シタルコト
 - 八、地主ガ小作ニ對シ農事上ノ施設ヲ忽ニスルコト
 - 九、穀物検査ガ小作人ニ何等ノ利益ナキコト
 - 一〇、農村ノ勞力ガ工業方面ニ吸收セラレタルコト
 - 一一、地主ガ小作人ニ尊敬セラル、修養ヲ積マズ又人格者タラザルコト
 - 一二、地主ガ不勞所得ニヨリ榮譽、榮華ヲ極メ社會ノ安寧ヲ亂スコトアルコト
 - 一三、小作問題ガ勞働問題、即チ資本主對勞働者關係ト同一ノモノナリトシテ時代のニ流行ヲ帶ブルコト
- 等ガ重ナル間接原因デアラネバナラス、而シテコレ等ノ理由ニ由リテ小作人ガ地主ニ要求ヲ爲サントスル手段トシテ直チニ團體的行動ニ出デ、小作料ノ減額納付或ハ滯納、不作同盟、勞力提供拒絕、小學兒童ノ同盟休校、小作組合規約違背者ノ排斥、乃至ハ地主ニ日用品ヲ賣却セストカ、地主ノ冠婚葬祭ニ參列又ハ手傳ヲ

セストカ、火災ソノ他變事ニ際シテ援助ヲセストカイフ様ナ方法ヲ執ツテ居ル

地主ト小作人ガ互ニ共同ノ利益ヲ目的トシテ立ツ以上ソコニ共同收利ノ方法ニ就テ兩者ノ關係ガ圓滿ニ解決シ難イ場合ヲ生ズルコトガアルノハ當然ノコトデアル、サレバ此地主小作問題ノ緩和策ヲ講ズルノ要アルハ勿論デアツテ、地主小作問題ノ解決ハ兩者互ニ誠實ヲ旨トシ虚心担懷、地主ハ小作人ノ生活、勞働ヲ克ク理解シ、小作人モ又地主ノ事情ヲ察シ兩者理解ノ下ニ互讓ノ途ヲ講ズルコトニ努メルヨリ外ハナイ、元來日本ノ小作者ハ外國トハ異ナリ立派ナ企業者デアル例ヘバ借家人ガ家ヲ借りテ店舗ヲ經營スルト同様デ如何ニ多クノ利益ヲ納メタレバトテ賃貸借ノ契約以外ニハ家賃ヲ支拂ハナイ、小作人モ小作地ヨリ如他ニ增收ヲ得ヨウトモ契約ノ小作料ヲ納ムレバヨイデアルカラ此ノ理ヲ小作者ニ理解セシメルコトガ地主、小作問題ヲ解決スル先決問題デアル尙地主ハ從來ノ不勞所得ニヨル生活ヲ改メテ少ナクとも五反ヤ六反ノ自作ヲシテ合理的農法ノ經營ヲシ小作者ニ模範ヲ示シ且ツ土地ト小作者ノ收益歩合ヲ理解シ、小作地ニ對スル資金ノ調達土地ノ改良、肥料、改良農具ノ貸與、獎勵米ノ交付、小作米品評會等小作者ニ對スル農事ノ施設ヲナシ生産増加ヲ期セシメ小作人ノ所得ヲ大ナラシムルコトガ必要ト思ハレル、而シテ小作者ニ對シテハ飽クマデ正義アル温情主義デ臨マネバナラス、尙讓リ得ベキ利權ノ割與即チ讓リ得ベキ利權ハ問題未發前ニ讓リ置クベキコトガ必要ト思フ以上ハ問題ヲ未然ニ防ギ誘掖指導(善導)スル方法デアツテ起ツタ曉ハ左記方法ニ據ルガヨカラウト愚考シテ居ル

- 一、問題ニ對シテハ正義ヲ以テ臨ミ譲リ得ベキ利權ハ之レヲ譲リ得ベカラザル權利ハ飽ク迄主張スルコト
- 二、問題ノ解決ハ可成自治ニ依ラシメ場合ニヨリテハ地方有志ノ仲裁ニテ解決スルコト
- 三、農會(系統)ハ常ニ善導ニ當リ問題ヲ生ジタル場合ハ仲裁ノ勞ヲ執ルコト
- 四、仲裁ニ官憲ガ立ツトキハ充分地主小作ノ收益歩合、習慣、氣候、勞力作物、栽培ノ方法等ヲ考慮スルコト

五、問題ハ法廷ニ爭ハザル様注意ヲ怠ラザルコト

地主小作問題ヲ未然ニ防グ法トシテ小作地ノ開放等アレドモ執ルベキ方法ニアラズ、將來本問題ノ取扱ハ地主ヲ小作者ニ對スル公益ヲ計ラシメ事實上ノ仕事ヲナサシメ問題ニハ正々堂々タラシメ、小作者ニハ共勵會ヲ起シテ栽培農業經營法ノ研究ヲナサシメ生産ノ増加ヲ圖ラシムル方案ヲ樹テルコトガ必要デ之レヲ遂行スルニハ自治團體ナル農會ノ活動ニシテ常ニ地主ト小作人ノ間ニ共保利益ノ増進ノ任ニアル技術員ノ接衝ガ何ヨリデアアル故ニ地主小作問題ノ未然ノ解決者ハ技術員デアルト云ハネバナラス

四

此問題ハ、實ニ刻下ノ大問題デアアル、將來一上一下ハ有ラウガ、然シ、小作者ノ社會上ニ於テ、自己ヲ理解スルト共ニ、健實ニ具体化スルデアラウ、夫レダケ、將來、解決ニ大ナル力ヲ要スルコトニナルト思フ、無遠慮ニ申上ゲレバ、現今ノ地主ノ大部分ハ時代化シテ得ナイ、頭ガ舊ヘ、又自己ノ天職ヲ解シテ居ラナイ、

故ニ地主デアリナガラ、自己ノ所有土地モ知ラナケレバ、又巡回モシナイ、眞ニ祖先傳來ノ土地ヨリ、不勞所得ヲ得テ、單ニ地所ノ番人ニ生レテ生活シテ居ル丈クノモノガアル、何ノ故ヲ以テ此世ニ生ラ享ケテ居ルヤヲ疑ハシムル様ナ者サイ見受ケル、去リトテ地主モ一種ノ企業主デアアル無論資本ニ對スル利得ヲ享クベキ權利ハアル故、無限ニ作得ヲ割讓セヨト謂ハン、要ハ吾モ農家、小作者モ農家、共存共榮ノ精神ヲ以テ、天職ヲ全ウシテ慾シイ此意味カラ、自分ハ左ノ意見ヲ、常ニ有スルモノデアアル

- 一、現今ノ小作契約ヲ改善シテ、永小作權トシ、地主ハ土地ト流通資本ヲ提供シ、小作ハ眞面目ナル勞力ヲ提供シ、秋收後小作ハ小作料ト流通資本ヲ地主ニ收ムルコト
但シ平年作ヨリ二割以内ノ減收ニハ引免セザルコト

二、中小作、檢見、足米、支配人ヲ全廢スルコト

三、地主小作間ノ問題ニ對シテハ番頭等ヲ煩ハサズ地主自身解決ニ當ルコト

四、地主會ヲ解散スルカ、然ラザレバ、地主會ハ進ンデ、小作人組合ヲ設立セシメ、進ンデ、地主小作間題ノ協調ヲナスコト

五、地主小作ノ問題ハ打ツテ一丸トシ、系統農會ノ手ニ移シ、農家ノ生活安定ヲ基礎トシ米價ノ公定ヲ政府ニ要求セシムルコト

六、普選ヲ實行セシメ、農村モ、都會モ同一ノ權利ヲ得セシメ、農民代表ノ代議士ヲ議會ニ多數送り、農

右實行ノ爲メ、大ナル輿論ノ作興ニ努力ヲ要スベキヤ勿論ナリ、地主モ小作モ夢ヨリ醒メテ、眞ノ活動的、社會的ノ人間ニナツテ慾シイ

五

時代ノ推移ニ依リ思想ノ變遷ハ自然ノ趨勢ニシテ又社會ノ復雜ナルニ從ツテ經濟上ノ問題ニ關シ些少ノ事迄デコセツキ或ハ互ニ權利義務ヲ主張スル傾向ハ爭フベカラザル事實ニシテ此ノ見地ヨリ考察セバ地主小作問題ハ早晚必ズ起ル問題デアル然シ此問題ノ起ルト否トハ地主小作ノ親善融和ノ程度ト相互ノ自覺ノ如何ニ依リ溫情的穩當ニ和解ガ付キ又ハ反感管ナラズ途ニ紛擾ヲ惹起シ甚シク惡化ヲ來スニ至ル吾人ハ常ニ地主小作ノ緩和親善ヲ圖リ之レヲ未然ニ防止スルカ又ハ極メテ穩カニ解決セシムル策ヲ講究セナケレバナラス本問題ノ解決調停ハ輕舉盲動的ニ迂濶ニハ手ハ付ケラレヌ宜シク其土地ノ人情風俗慣行及地主小作ノ狀態並反感紛擾ノ誘發原因ヲ詳ニ調査探究シ誠心誠意其極ニ當ルノ覺悟ヲ要ス

反感紛擾ノ勃發動機及原因ハ勿論町村ノ事情ノ異ナルニ從ツテ多岐多様ナリトハ雖モ重ナル原因トナルベキ事項ヲ列記セバ次ノ様デアル

- 一、小作米ノ關係
- 二、地主ノ横暴

三、小作ノ我儘

四、他人ノ煽動

五、意志ノ疎通ヲ缺クコト

六、好奇心ニ藉ラル、コト

一、小作米ノ關係 地主トシテハ土地資本ニ對スル利潤及諸稅過重ノ上カラ少シデモ小作米ヲ收得シタイノハ勿論デアリ又一方小作者ハ肥料及勞銀騰貴ノ現今動モスレバ收支相償ハズ爲メニ地主ニ減米ヲ要求スルノハ致方ナイ様デアルガ、如斯互ニ讓歩スルコトナク利益一點張リニテハ始終紛擾ハ絶ヘヌ依テ之レガ對策ハ兎ニ角土地改良ヲ行ヒ小費多稔ノ實ヲ舉クルヨリ外ニ良策ハ考ヘ付カヌ、故ニ地主ハ自己ノ田畑ニ對シテハ土地改良ヲ勵行シ又小作者ニ對シ經營資金ヲ低利ニ融通シ、或ハ農用牛馬ノ貸付其他獎勵的事業ノ施設ヲ要望スルト共ニ小作者ニ對シテハ農業智識ノ向上ヲ圖ル爲メ農會又ハ地主會ト相呼應シテ農事ニ關スル講習講話ヲ開催シ又ハ實地指導ヲ行ハシメ農事ノ改善ヲ期シ益々增收ヲ獲得セシメ而シテ小作米ノ決定ニ付テハ地主及小作者ノ經濟狀態及作柄ヲ調査願慮シ最モ公平ナル所置ヲ取り之レガ紛擾ノ根原ヲ除去スルコト肝要デアル、

二、地主ノ横暴 地主小作ハ恰モ主從親子ノ如キ習慣ハ大ニ賞揚スベキ美風ナレ共若シ地主ニ於テ慈善愛情ノ念薄ラギ動モスレバ小作者ヲ輕蔑シ甚シキニ至リテハ自己ノ慾望ヲ恣ニセンガ爲メ壓迫ヲ加ヘ常

ニ横暴ヲ極メンカ小作者ハ地主ニ對シ形式的即チ表面上從順ナルモ内心ハ反感不快ノ念ヲ懷キ機ニ乘ジテ發憤紛擾ヲ起スニ至ル依而吾人ハ是ノ如キ地主ニ對シシハ時代思想ノ變遷人權尊重上小作者愛護ヲ直接及間接ニ諭告シ之レガ弊風ノ絶滅改善セシムルコトヲ要ス、

三、小作ノ我儘 小作者ハ自己ノ勤勉努力ヲ忘レ動モスレバ依頼心ヲ起シ、無理ナル要求ヲ持込ミ、地主ノ感情ヲ害シ、從來地主ノ温情温和ノ所置ハ轉ジテ強制的態度ニ出デシメ、遂ニ紛擾ノ發端トナルコト往々アルニ依リ若シ小作者ニ如斯惡習慣ヲ認メナバ、親シク小作者ニ接シ奮勵努力ノ念ヲ自發セシメ、舊來ノ依頼心ヲ打破スルト共ニ地主ヨリハ精勤ナル小作者ニ對シ、良風助長ノ爲メ表彰ノ道ヲ講ゼシムルハ一大獎勵策デアアル、

四、他人ノ煽動 小作者ハ一般質朴ニシテ比較的世事ニ疏キ缺點ニ乘ジ政治的、或ハ野心的惡策ヲ弄スル奸人ノ爲メニ煽動セラレ之レガ紛擾ノ基因ヲ招來スルコトナシトセズ此場合ハ煽動者ニ對シ抗議ヲ申込ムト共ニ小作者ヲ諭告シ惡策手段ニ乘ゼザル様努ムルコト肝要デアアル、

五、意志ノ疏通ヲ缺クコト 地主ト小作者ハ接近スルノ機會比較的少ナキガ爲メ小作者ハ能ク地主ノ意向ヲ知り難ク地主モ亦小作ノ希望及不平ヲ聞クコト少ナク(殊ニ大地主ニ然リトス)自然意志ノ疏隔ヲ生シ、平穩ニ和解出來得ル問題モ遂ニ大袈裟トナリ、互ニ相反目シ紛擾ノ原因ヲ來スコト又尠カラズ、故ニ吾人ハ常ニ相互接近スルノ機會ヲ作ラシメ諒解ヲ得ルト共ニ、益々親密ノ度ヲ厚クセシムルコト

ハ、極メテ緊要デアアル、

六、好奇心ニ藉ラルルコト 新聞及雜誌等ニ地主小作問題ノ勃發等ヲ針小棒大ニ記載シアルヲ見テ思想ノ薄弱ナル小作者ハ遂ニ好奇心ニ藉ラレ之シガ動機ノ誘因ヲ與フルコト強チナシトセズ故ニ當局者ハ大ニ此ノ點ニ顧慮ヲ要ス、

本問題ノ對策ニ付テハ常ニ原因ヲ調査シ之レヲ未然ニ防止スルヨリ結構ノ事ハ無キガ事件突發ノ場合ハ慎重ナル顧慮ト周到ナル注意ヲ以テ解決調停ニ努ムルハ吾人ノ立場デアアル

六

現今各地ニ於テ、紛擾ヲ醸シツ、アル、此ノ問題ニ對シテハ、人ニヨリ種々意見ヲ異ニシテ居ルガ此ノ問題ハ千變一律ノモノニアラズシテ、各地其ノ紛擾原因ヲ異ニシテ居ル故、之レガ解決方法ニ、意見ヲ異ニスルハ、當然ノコトデアアルト思フガ、コレガ解決ハ、仲々至難ノコトニテ、我々如キガ此レガ對策ヲ、語ルニ由ナキモ當上越地方ノ現在ニ顧ミテ、コレヲ論ズレバ、由來上越地方ノ農業組織ハ、私ガ此處テ述ブルマデモナク、主労働者タルモノガ、幼稚ナル頭ヲ有スル、無自覺ナ婦女デアアルヲ以テ、當分關西地方ノ如キ、過激ナル、紛擾ヲ起スコトハ、無キモノト思フガ、而シ此ノ問題ヲ、地主側ニ於テ、傍觀主義放任主義ヲ取ランカ遠カラズ紛擾ヲ惹起スルハ當然デアアル、故ニ此ノ際地主側ノ、覺醒ヲ促スコトハ必要デアアルト思フ

又、現今小作思想ノ變化ヲ見ルニ、其ノ原因ハ企業利益ノ薄キヲ難ジ、且ツ農業労働ノ不足ヲ呼ビツ、次第

ニ悪化スルモノナルヲ以テ、之レガ解決ヲ、見出スコトハ急務中ノ急務デアアル故農會、地主會等ニ於テ、コレガ解決ノ方針ヲ定メ此ノ思想ノ變化ヲ善導スルコトガ必要デアルト思フ、而シ之レハ、思想悪化セントシツ、アル所ニ施ス對策ナルガ一朝之レヲ外部ニ現ラハシ、亂爭等ヲナスニ至レバ、之レヲ善導スル端緒トシテ、小作者ノ頭ニ、一大變化ヲ起サシムル施設ヲナスガ必要デアルコレガ、具体案ヲ有セザルモ、思フニ、小作料ノ米納ヲ糶納トスルコト等ハ、勞力不足ノ今日、小作者ニ一大優遇ノ自覺ヲ與ヘルモノナリ、又一方ニハ、機械力ノ應用ヲ獎勵スルノニアリ而シテ此ノ購入ハ、小資本ノ農業者ニハ、當抵不可能ノ事ナルヲ以テ、地主側ニ於テ購入シ貸與スル方法ヲ以テ、勞力ノ解決ノ一資トナシ又、此ノ機械ヲ以テ、地主側ノ糶摺等モ、農閑期ヲ利用シテ之レヲ實行シ、小作人優遇ヲナス一法トシテ、好結果ヲ得ルコト、思ヒ居ルガ、コレニヨリ小作及地主ノ共同使用ヲナシ、之等ヲ網羅スル生産組合ヲ組織スル端緒トモナリ、之レニ對シテ、獎勵ノ宜シキヲ得レバ決シテ、紛擾ヲ醸スコトナキト思フ、尙、現今、行ナハレツ、アル土地管理者ナルモノハ地主ト小作ノ中間ニ入り、甘キ餘汁ヲ吸ヒ居ル寄生物ナル故、コレヲ、廢止シテ、コレニ地主ノ活動ヲ促スコトモ、急務トスルコト、思フ、

近時(十二月中旬)ノ大阪時事新聞ニモ、見ユル、農業警察法ノ制定ハ現今岐阜縣下ニ於テモ、コレヲ實行致シ居ル様見受ケラル、ガ、各縣下ニ於テモ、必要期ノ來ルコトハ遠キ將來ニアラザルコト、思フ、此ノ法令ハ各縣下各地ニ於テ、小作契約ノ異ナル如ク、又、小作慣行ノ異ル如クニ異ニスル必要アルヲ以テ、各縣下

ニ於テ、適合シタル、法令ヲ制定シテ、之レヲ各農民ニ徹底的ニ了解セシメ置クハ、紛擾ヲ未前ニ防グ方法カトモ思フ

七

小作問題ハ恰モ暴風ノ如ク怒濤ノ如キ感ガアルガ、對島沖ノ低氣壓ガ九州關西ノ一部ヲ暴ラシテ東ニ走り大平洋ニ出テ仕マツタト云フ様ニ斯ク安堵シテ居ラル、モノデモアルマイ、コノ低氣壓ハソソナニ局部的ノモノデハナク、信州飛彈ノ山奥ヤ小豆島粟生島ハ無難デ濟マウガ、苟クモ大米產地タル而カモ小作ノ多イ本縣ニハ時期ノ早晚コソアレ必ズ襲來スルモノデアラウト豫想スル、測候所ガ各地ノ氣壓ヲ集メテ天候風位ヲ豫測スル如ク、コノ問題モ研究シタナラバ傳波進行ノ方向モ判ツテ來ヤウカト思ハル

世ニ駄々兒ト言フガアル威ドシテ居レバ益々根性が曲ツテ行クシ甘カシタリ賺シテノミ居レバツケ上ガツテ頭ノ頂ニデモナンデモ昇ル氣ニナル、緩急其度ヲ得ルト云フコトガ至難デアアル、然シ駄々兒必ズシモ絶對ニ惡イトモ決セラレヌ性質、境遇、等何カソコニ譯ガアラウ、發狂セヌ限リ相當見込アリ大ニ役ニ立ツノデアアル、彼等ヲ良導スルハ今ガ尤モ肝要ノ秋デアアルマイカ、中國關西ノ小作騒動ガ如何ナル近因ヲ以テ起リ如何ナル程度ニ進ミツ、アルカヲ詳シク知ラスケレド、今ノ世ノ中ハ兎角眞面目ノ者ガ難儀シテ不眞面目ノ者ガ好遇ニ位置シテ居ルコトヲ往々見受ケルノデアアル、所謂時代ノ弊デアラウガ、爲メニ眞面目ノ地主モ多少角ヤ莉ヲ取り去ツテ圓熟シテ時代ニ順應セヌト飛ンダ災難ニ遇ハネバナラスコトモアルマイカ、即チ本縣内ノ

小作問題ノ起ツターニヲ考ヘテ見ルト比較的不眞面目ノ方ニハ騷動ガ起ツテ居ナイノデアール一口ニ言ヘバ眞面目過ル方ニ起ツテ居ルカト思ハレルノデアール

小作問題ノ起ル動機ニハ種々アル水利關係、引免不足ハ言ハズモガナ御門違イノ方カラ出發シテ殆ンドソレト無關係ノ様ノ處カラ起ツテ來ルコトガ少クナイ、然シ無關係ノ様デモ問題ハ矢張り問題デアール、近因ハ的ガ外レタヤウデモ遠因ヲ引テ考フレバ必ズ譯ガアルノデアール、コノ御門違ノヤウニ一見見ユルモノガ却ツテ研究ノ價值アリ味モアルモノデアールマイカ、駄々兒ハ發狂シ易イ近頃ノ生存競争ノ激烈サハ實ニ一層其感ヲ深カラシメル

各地ニ行ハル、模範小作表彰ト云フコトハ頗ル善イコトデアール、左リトテ是レノミニテハ今ノ時勢却ツテ駄々兒ヲ良導スルノ策ヲ得タル最善トハ考ヘラレヌ、日本ニハ穴ヲ穿ツニ眞直グナ錐ヲ以テシ或ハ釘ヲ用ヒテ居タ西洋人ハ曲ツタ螺旋ヲ以テシ取り外シノ自在サヘ考イテ居ル、小作問題ノ折衝ニハコンナ呼吸ガ必要デアールマイカ

八

地主小作紛争ノ原因多々アルベシト雖モ大体

- (A) 農業ノ薄利ナル事
- (B) 思想ノ惡化

ノ二ナリト信ズ

而シテ是ガ對策トシテ吾人ノ執ルベキ方針ハ大要左記各項ナリ

(A) 小作者ニ對シテノ方策

(イ) 稻作ノ改良ヲ行ヒ少ナクモ小作料ノ三倍迄ノ收量ニ進メ(小作料一石ナレバ三石)地主小作ハ一對二ノ收得トナサシムル事

從來ハ地主小作ノ利得ヲ半々即チ一對一ニナレバ双方満足シツ、アリシモ農業技術ノ進歩セル今日當増收シ得ルハ勿論ニシテ之レガ指導ノ爲メ村農會又ハ大地主ニ於テ技術員ヲ設置スル事

(ロ) 舊慣ヲ打破シ冗費ヲ省キ貯蓄ニ努メ以テ幾分宛ニテモ耕地購入ヲナシ自作農ノ域ニ進ムル事

從來地主ニシテ土地ヲ賣却セントスル場合ハ秘密裡ニ他地方ニ賣渡スヲ往々見受ク、カ、ル事柄ヲ廢サシメ自村ノ小作者ニ分讓スル事、如斯場合ニ於テ他ノ大地主又ハ村農會ニ於テ低利資金ノ調達ニ努ムル事

(ハ) 平年作以上ノ作柄ニ於テ相當貯蓄ヲナシ凶作ニ備フル事

地主モ此舉ニ賛同シ双方出金シ共同貯金ヲナス事

(ニ) 地主ハ親作ト稱シ小作トハ親子ノ如キ密接ナル關係アリ中ニハ祖先ヨリ非常ナル恩惠ヲ蒙リシ者尠ナカラザレバ常ニ敬慕ノ念ヲ以テ交際スル事

農事講習講話ニハ技術方面ト共ニ精神的訓話ヲナスニ努メ又時々名僧名士ヲ招聘シ思想ノ善導ニ努ムル事

(ホ) 農村ニ永住シ所謂愛郷心ヲ失ハザル事

農事ノ薄利ナルニ引換エ工商工業ハ高キ賃銀ヲ支給スルヲ以ツテ從來ノ家業ヲ放棄スルヲ意ニ解セザルニ至リタレバ農村ニ愛着セシメンガ爲メ副業ノ獎勵、生産品ノ販賣斡旋ヲ行ナヒ收益ヲ多カラシムルト共ニ村農會ニ於イテ活動寫真其他娛樂ノ設備ヲナシ以ツテ永住ノ地タラシムル觀念ヲ持タシムル事

(B) 地主ニ對シテノ方策

(イ) 小作者ヲ愛撫シ其家族ヲ年一回以上自宅ニ招キ彼此意志ノ疎通ヲ圖ル事

當日ハ主人自ラ斡旋ニ努メ簡單ノ馳走ヲナシ胸襟ヲ擺キ談笑スルノ機ヲ與フル事

(ロ) 年一回以上小作者ト農事視察ヲナシ見聞ヲ擴ムル事

汽車宿舎等萬事區別セザル事

(ハ) 成ル可ク耕地反別ヲ多ク(耕地不足ノ土地ヲ除ク)シ小地主ニアリテハ自カラ田圃ニ立チテ耕作ヲナス事

改良農具ヲ購求シ小作者ニ貸付ケ又肥料種苗ノ共同購入斡旋ヲナセバ尤モ妙ナリ

(ニ) 小作料ノ改正ヲ要スル土地アラバ速カニ行フ事

村農會技術員及自作農一名立會フ事

(ホ) 耕地所有ニヨル失費ヲ小作者ニ公開シ了解ヲ求ムル事

現在一石内外ノ小作料ヲ徵スルモ利益分配上地主トシテ決シテ過度ナラズト思考ス、故ニ公租公課其他一切ノ失費ヲ列舉シ小作者ニ示セバ現今考フルガ如ク小作者ノ膏血ニ依リ徒食セザルヲ悟ルニ至ルベシ

農會ニ於テ是ガ公表ヲナセバ一層有意義ナリ

以 上

九

近頃地主對小作問題ガ随分喧カマシクナツテ來タガ、問題ノ要旨ハ結局利益分配即チ小作料減免要求ニ歸着スル、随ツテ此問題ノ解決ニハ先ツ地主側ノ自覺ニ俟タネバナラヌノデアアル、地主ヲ大者筋ノ自覺ヲ喚起スルニハ指導獎勵ト云ツタ様ナ速意ナ手段デハ埒ノ明ク筈ハナイ、之ハ極メテ適切ナル機會ト大ナル動機トガナケレバナラヌノデアツテ、唯今各地ニ勃發スル小作問題ノ如キハ則チソレデアアル、而カモ尙ホ未ダ自覺ノナイ地主モ少クナイカノ様ニ見ヘル、コレ或ハ問題ノ勃發ハ多クハ岐阜愛知ト謂ツタ様ナ方面デアツテ手近イ此地方デナイ爲メカモ知レンガ中々ドツサリシタ態度デアアル、斯ル場合ニ於テオ世話役タル第三者ノ吾

々ハ如何ニシテヨイカ此處ガ餘程考ヘ物ダ、近頃新聞ニ見ルニ西播原郡デハ大地主ノミテ組織シタ研究會ガ出來タトノ事デアル、其内容ヲ明カニ知ラナイカラ兎ヤ角ノ批評モ出來ナイガ、此際此様ナ團體ガ出來テ來テ地主小作間ノ利益ヲ圓滿ニ保持スル方法ヲ研究シテ誠心ノ小作ノ境遇ヲ思ヒ遣リ、ソレヲ根據トシテノ調和策ノ研究或ハ他地方ノ實況等ヲ調査シテ自制々他圓滿ノ方策ヲ鍛ヘ上ゲ、而シテ小作ノ要求即チ所謂小作問題ノ起ラヌ先ニ須ラク地主側カラ進ンデ之ヲ實行スベクオ世話ニルノガ 番ヨイト思フ

小作者ノ境遇ヲ根本的ニ思ヒ遣ツク調和策ノ研究ニ就テ先ヅ第一ニ思イ起サネバナランコトガアル、劈頭ニ述ベタ通り方今小作問題ノ起ル根據ハ利益問題デ小作料ノ減免ヲ要求スルノガ其骨子デアアル、隨ツテ問題ノ起ルノハ比較的小作料ノ高キ地方而カモ定免ト稱ヘテ容易ニ免引ヲシナイ地方デアアル、本縣ノ舊慣トシテハ小作料ハ一般ニ稍高率ニ定メテアルガ、其代リニ立見ト稱ヘテ毎年地主小作立會ニテ稻ノ出來榮ヲ調ベ其年ノ減免額ヲ定メルノデアアル、此立見ヲ行フコトハ昔カラノ恒例ニナツテ居ルノデ敢テ怪ムコトモナク相互ニ田面ニ佇立シテ小競合ヲヤルノデ、世間ノ所謂小作問題類似ノ折衝ガ行ハル、ノデアアル、之ガ爲メ表立ツタ小作問題ガ比較的顯ハレナイガ、兎モスルト其折衝ガ破烈シテ所謂小作問題ニ化セナイニモ限ラヌ、畢竟コノ立見ト言フモノハ直接ニ間接ニ地主小作間ノ感情ヲ惡化シ且ツ農事改良上少ナカラン惡影響ヲ及ボスノデアアル、其理由ハ殊更此處ニ述ベナイガ、蓋シ地主側デモ小作側デモ此位ナ事ハ既ニ御承知ノ事デアアル、而カモ之ヲ改メナイノハ相互ニ此處ニ言フベカラザル理由ガアルカラデアアル、本縣地主小作間ノ關係次第ニ惡化ス

ルモ將又農事ノ進歩セザルコトモ、主トシテ此立見制度ニ原因スルコトヲ想ハネバナラヌ

サレバ立見制度ヲ改善シテ常得ニ改ムルコト、同時ニ小作料ヲ低減スルコト、ハ、農事改良上ニハ暫クトスルモ、將來地主小作間ノ圓滿融和ヲ圖ル上ニ於テ焦眉ノ急務ト云ハネバナラヌ、而シテ小作料ノ低減ハ又根據アルモノデナケレバナラヌ、元來地主トシテハ可憐ナル小作者ヲ保護スベキハ勿論デアアルガ、併シ今日ノ地主ハ社會奉仕上極メテ有力ナ位置ニアルノデ、將來トテモ其位置ト面目トヲ持續セネバナラヌコトハ言フマデモナイ、左レバ無暗ニ小作者ノ爲メノ減免ニノミ熱シテ自己ヲ顧ミルコトヲ忘レテハナラヌ、則チ地主自ラモ立行ク様ニ按配シナケレバナラヌ、故ニ減退ノ標準ハ諸方面ニ材料ヲ求メテ定ムベキモ、或ハ既往十ヶ年間位ノ實納米ヲ平均シテ定ムルモ一ツノ參考標準デアアラフ

目下ノ小作問題ハ主トシテ小作料免引要求チアツテ、言ハ、地主小作間ニ於ケル利益分配率ノ適否ノ争ヒニ過ギナイ、一時ノ平和觀ヨリシテハ問題ノ狭ヒ丈クソレダケ解決モ容易デアルコトヲ喜バネバナラヌ、併シ吾輩ヲシテ露骨ニ言ハシメタナラバ、世界的ノ日本トシテ將又世界的ノ農民トシテハ、今一步積極的デ、進歩的デ、努力的ノ思想ノ發顯ヲ希望セネバナランノデアアル、何トナレバ小作農者ノ利益問題ハ、彼ノ勞働者ガ賃銀ノ多キヲ争フガ如キ單純ナ利益問題ト其趣ガ異ナルカラデアアル、小作農トシテハ小作料ノ少キヲ希フハ一應道理ニハ相違ナキモ、農業經濟上カラ見ルト斯ノ如キハ極メテ小ナル問題デアツテ、眞ノ利益問題ハ其以外ニ更ニ大ナルモノガナクテハナラヌノデアアル、則チ土地生産力ノ増加ヲ圖ルガ如キ、土地利用ノ範圍

ヲ擴張スルガ如キ、乃至勞力節約ノ如キ、資金供給ノ如キ、之等ノ革進ニ依ツテ利益ノ増大ヲ圖ツタナラバ得ル處今日ノ幾倍ナルカラ知ルベキデアル、斯ノ如キハ國產増殖上必要ナ事項デ、言ハ、興國思想ノ齎ラス要求トモイフベキモノデ、斯ク民心ノ作興ヲ希望セネバナルマイカト思フ、但シ其發現ノ動機ガ思想ノ善化ニ基クコトヲ要シ、思想ノ惡化ヨリ生ズルコトヲ忌マネバナラス、從ツテ之ガ善導ニ努力セネバナラスノデアル、左レバ今後ノ小作問題トシテハ、或ハ耕地整理ノ如キ、或ハ土地改良ノ如キ、或ハ用器水路ノ改善ノ如キ、或ハ動力又ハ資金供給ノ如キ、積極的ニ其土地ノ能力ヲ増進スルニ必要ナル要素ノ供給ヲ要求スルガ如キ時代ノ到來センコトヲ豫想セネバナラス、此ノ如キ問題ハ今ヨリ地主側ノ考慮ヲ必要トシ、其問題ノ起ラザルニ先達チ地主側ヨリ進ンデ實行スルノ準備ガナクテハナラス

小作問題ノ解決ニ就テ地主側ノ或一人ガ突飛ナ改革ヲ行フコトハ、其事ノ善惡ニ論ナク小作問題ヲ喚ビ起ス導火線トナルコトガアルカラオ互ニ慎マネバナルマイカト思フ、夫レヲ圓滿ニ運ブニハ地主側ノ一致ガ必要デアツテ、ソレニハ前ニ述べタ小作者保護研究會ノ如キ大地主團體ノ組織ガ必要デアル、又タ小作問題ノ勃發ニ就テハ地方小地主ノ小作ニ對スル態度ノ宜シカラザルガ爲メニ、小作者ノ感情ヲ害シ次第ニ思想ヲ惡化スルニ基ク場合モ少ナカラヌ様ニモ見ヘル、此側ノ地主デハ、小作者ノ向脊ガ自己ノ生活ニ著シイ影響ガナク從ツテ自ら態度ガ疎忽ニナルノカモ知レス、其處ニナルト大地主デハ其趣キガ違フ、若シ小作者ガ全ク土地ヲ耕作シナイコトニナルト、土地ノ價值ガ疑ハシクナリ、澤山ナ土地ヲ如何トモスルコトガ出來ナイ、從ツ

テ小作者トノ關係ハ絶對ニ斷ツコトガ出來ナイノデアル、故ニ前ニモ述べタ小作保護研究會モ利害關係ノ直覺者タル大地主デ組織シタナラバ誠心的ノ研究ガ出來ルデハアルマイカ、所謂小作問題ノ調和ニ就テハ如上ノ見地ヲ以テオ世話シタイト思フノデアル

+

近來各地ニ起リツ、アリマス地主對小作問題ハ外觀何レモ小作料ニ關スル問題デアリマスガ單ニ利益ノ分配ノミニ非ラザルヤウニ考ヘラレマス、ソノ根底ハ社會文化ノ推移ニ伴フ思想問題生活問題ニ基因スルコト、考ヘラレマス而シテコノ二問題ハ案外下級ノ農家ノ人々ノ頭ニ這入ツテ居ルヤウニ見エマス小作料ノ輕減ヤ土地ノ問題ハ如何ヤウニモ解決ハ出來サウデアリマスケレドモ小作者ノ思想ニ伴フ地主ノ思想ガ餘リニ古イノニ驚クト同時ニ舊慣ノ行ハル、今日之ガ解決ハ頗ル困難ノ問題デアリマス如何ニ考ヘマシテモ問題ノ起ラントスル根底ハ思想ノ相違カラデアリマス、ソノ上ニ小作者ノ生活ノ向上ハ時代ノ然ラシムルトコロ當然デアリマスガ之ニ伴フ生活ノ要ガアリマス時代文化ノ趨勢ハ今日價值ノ轉倒デアリマス土地ヲ所有スル地主ハ地方ニ於テ大ナル社會的地位ト生活ノ安定トヲ有シテ居リマシタガ新シイ今日ノ社會ハ之ヲ許シマセンヤウニナリツ、アリマス、親ヨリ讓渡サレタ土地ヲソノ儘繼承シテ何ラ社會ニ盡スコトナク何ラノ努メヲナサル大地主ハ當然社會ニイレラレスヤウニナラナケレバナラスヤウニ思ハレマス、然シナガラ小作者ガ地主ニ社會的地位ヲ放擲シ土地ノ分配ヲナシ然ラズンバ小作者ノ生活ノ安定ヲ保證セヨト迫ル權利ガアリマセン之

ヲ要求スルハ無理デアリマス而シテ此ノ無理ヲ貫徹セントセバ必ず社會ノ秩序ヲ亂サナケレバナリマセン
故ニ此ノ問題ヲ互ニ圓滿ニ解決セントスルナラバ左記ノ方法ニ依ラナケレバナラヌヤウニ今日私ハ考ヘラレ
マス今日ノ考ヘハ又明日ニテモ變ルヤモ知レマセン、之ハ皆様ノ御意見ガ色々ト相違ガアリ隨分御意見ガ變
ツテ來テ居リマス終始一貫シタ御説ガアリマセンヤウニ思ハレマス之ハ止ムヲ得ザルコト、存ジマス

左記

- 一、各地主ハ歩調ヲ一ニスルコト
- 一、地主ハ時ト場合ニ應ジ機先ヲ制シ小作人ニ引キ廻ハサル、ガ如キ事ナキヤウ注意スルコト
- 一、地主ハ何等カノ方法デ農事ノ改良ノ獎勵事業ヲナスコト
- 一、地主ハ充分番頭及支配人ヲ監督シ之ガ選擇ヲ嚴ニスルコト
- 一、大地主ハ小作人ト接近シ番頭及支配人任セニセヌヤウニスルコト
- 一、中、小地主ハ必ず耕作ヲ試ミルコト
- 一、地主ハ小作人ニ對シ低利資金ノ融通ヲナスコト
- 一、大地主ハ土地購入ノ資金ヲ有スル小作人ニハ勿論其他ノ小作人ニモ希望ニ應ジ何等カノ方法デ廉價ニ小作地ヲ賣渡スコト
- 一、小作地入付ハ全部定免ニシテ從來ノ毛見ヲ廢シ特別ノ不作年以外ニハナサザルコト

- 一、小作人ハ一村ヲ單位トセル小作組合ヲ設立スルコト
- 一、小作ガ地主トノ重要ナル交渉ハ小作組合ノ幹事ニ於テハ必ず町村農會長其他ノ立合ヲ乞フコト
- 一、町村農會郡農會ハ共力シテ作物ノ多收穫ノ方法ヲ徹底普及セシムルニ全力ヲ盡スコト
- 一、地主ハ優良ナル小作人ノ表彰ヲナスコト

以 上

十一

秘密ニ附ス
必要ナシ

(一)

地主對小作ノ爭議ハ、既往ニ於テモアツタガ、最近ノ様ニ頻發スル事ハ未ダ會ツテ無カツ
タ、夫レガ既往ニ於テハ報導機關ノ缺如セル爲メ、世ニ多ク喧傳セラレナカッタトカ、又今日ニ於テハ、一
般ニ讀書力ガ増進シタ爲メニ、一般ニ知ラレ易イト云フ様ナ結果デナク、事實上件數ガ増加シ來ツタノデア
ル、私ハ將來必ず之ガ農村ニ於ケル重大社會問題トナルデアラウト信ジ、先年カラ之レガ研究ヲ怠ラナカッ
タ、而シテ其研究ノ方法トシテハ、縣外ノ紛擾地ヲ視察シタリ、又常ニ新聞ニ充分ナル注意ヲナシ、關係記
事ハ悉ク之レヲ切抜シタノデアアル、處ガ今日デハ事件ガ餘リニ増加シ其新聞記事切抜キモ遺リ切レヌ位澤山
ニナリ遂ニ中止シタ様ナ次第デアアル、其筋ニ於テハ最初ハ如此記事ニ非常ナル警戒ヲナシ、其取締ヲ嚴ニシ
テ真相ノ發表ヲ阻止セラレタ傾ガ認ラレタガ、今日ノ様ニ各地ニ頻發シテハ餘リニ公知ノ事ニ屬シタ關係

カ其手モ緩ンダ様ニ見受ラルル狀況デアル、曾ツテ愛知縣デ該問題研究ノ目的ヲ以テ農村研究會ノ組織セラレタ際會長ハ本會ノ内容ヲ公表スベキヤ秘密ニ附スベキヤヲ諮ラレタ、其際秘密ニ附スベキト主張スルモノハ『之レヲ公表セバ火ノ無イ處ニ火ヲ點ケルモ同様ダ』ト大ニ恐レ公表側ノモノハ『之ヲ秘密ニ附シテ置ケバ知レマイ又知ラセバ傳染スルナド思フモノハ未ダ時代ヲ自覺セズ者デアル本問題タルヤ既ニ本縣ニモ多數アツテ近キモノハ實地ニ之ヲ見、遠キモノト雖モ新聞ニ依ツテ悉ク知ツテ居ルノデアル如此ナル故ニ之レヲ秘密ニ附セバ反ツテ本會ノ目的ヲ誤解シ地主ノ爲メノ會合ナリト信ゼシメ研究及協調ノ目的ヲ達成スルニ困難ナルベシ故ニ須ク公表スヘシ』ト主張シタ、其席ニ居ラレタ山崎延吉氏モ『火ノ無イ處ヘ火ヲ點ケルト云ヘバ恐シイガ、目下ノ農村ハ所謂火ガ點キ易クナツテ居ルカラ、如何ニ火ヲ點ケテモ發火シナイ様ニシナケレバナラス其方法ヲ講究スル爲メノ今回ノ催シダカラ、敢テ秘密ニ附ス必要ナイ』ト言ハレ、遂ニ新聞ニ發表スルコトニナツタノデアル、今日ハ國民教育モ普及シ、青年會軍人會等ノ社會教育機關モ、補習教育機關モ整備シ、一般ノ智識モ進ンデ來タ、其讀書力モ増進シテ社會ニ於ケル自己ノ立場ヲ自覺シツ、アルノデアル人ハ如何ニ變ラヌトシテモ、其頭腦思想ハ大ニ變化シテ居ルノデアル、故ニ『知ラシムベカラズ』トカ『據ラシムベシ』トカ云フ政策ハ容レラレヌ時代トナツタト思ハナケレバナラス、宜シク『知ラシメテ其自治心ヲ啓發シ而シテ指導スベシ』ノ方針ニ出ンケレバナラス、況ンヤ本問題ガ單ニ、地主又ハ小作者ノ問題デナク農村ノ隆替ニ關スル重大ナル社會問題デアル以上ハ、農村ニ關係アル總テノ者ガ打チ寄ツテ、腹藏ナキ意見

ノ交換ヲナシ、眞面目ノ研究ヲシナケレバナラスモノト思フノデアル

最近ノ報知新聞ニ、地主小作紛擾地ヲ視察セラレタ、協調會囑託太田農學士ノ意見ガ、左記ノ通り發表サレタガ、要スルニ吾人ノ意見ノ如ク斷ジテ秘密ニ附セザルノミナラズ、進ンデ之レヲ公開シ工業界ニ於ケル委員會制ノ如ク、農業協議會制ヲ提唱シテ居ルノデアル

現下ノ小作爭議ヲ緩和スル爲メニハ是非共地主ト小作人ノ懇談シ得ル協議會ヲ設クル必要ガアル工場労働デモ左様デアルガ農業労働殊ニ小作ニアツテハ一層勞資ノ利害關係ガ一致シテ居ルノデアルカラ好成绩ヲ舉ゲルコトガ出來ルト思フ、私ノ視察シテ來タ範圍デ此制度ヲ採用シテ居ルノハ長野縣ニ二箇所兵庫縣ニ二箇所アツタガ何レモ優秀ナ成績ヲ舉ゲテ居ツタ此制度ニハ小作人側ハ舉ツテ賛成シツ、居ルノデアルカラ爭ヒヲ未然ニ防グ爲ニ地主側ノ奮起ヲ促シタイ、既ニ爭議トナツテカラハ後ノ祭リデ手ノ着ケ様モ無イガ其以前ニハ此方法デ充分間ニ合フ譯デアル之レハ協調會ノ意見デハナク私個人ノ私案デアルガ早晚一般ノ問題トナラウ云々

故ニ私ハ、公開的施設ニ依ツテ本問題ヲ解決セントスルモノデ、決シテ秘密ニ附ス可カラザル事ト信ズルモノデアル

恐ルベキ

(二)

本縣ノ將來

爭議ノ原因ニ就テハ、己デニ多クノモノニ調査研究サレタ如ク地主又ハ小作人側カラ起レ

ルモノ、經濟、制度方面カラ起レルモノ或ハ思想智識或ハ外界ノ刺激、感情ノ衝突等色々アルガ要スルニ思想ノ變化ニ依ル、階級の意識ニ係ル權利ノ主張ト、其主張ノ上ニ座セル經濟的要求(適當ナ言葉デナイガ)ノ衝突デアルト思フノデアアル、則チ階級の意識ハ、既往ト現在トハ大ニ異リ既往ニ於テハ經濟的位置ニ重キヲ置キ、富力アル處ヲ尊ミ、富力アルモノニ屈從シ、其ノ專横ヲ當然トシテ認メテ來タ、ケレドモ今日ハ左様デハナイ『人ニ貴賤ナシ生キントスル權利ハ平等ダ』トカ『社會ハ有機體デアアル、彼等ノ態度夫レ何事ゾ』ナド口ニシ腹ノ中ニ考ヘル様ニナツタノデアアル、隨テ既往ニ於ケル絶對的弱者デアツタ小作人ガ、其強者タル地主ニ對抗シテ平等ノ位置ヲ得ントスルハ、思想ノ變化ニ依ル當然ノ主張デアツテ、之レニ對シ地主側ノ現狀維持ノ主張トナリ、遂ニ爭議ノ素因ヲ醸成スルニ至ルノデアアル、而シテ問題ハ更ニ展開シテ、弱者ノ強者ノ位置ヲ獲得及保有スルニ必要ナル、物資ノ問題トナリ、具体化シテ社會運動ニナルモノト思フノデアアル、次ニ紛擾ノ程度ニ就テハ、古今ニ於ケル階級の意識ノ差異ト地理上經濟的位置ノ差異、及當事者間ノ要望ノ程度ニ依ツテ異ルモノト思ハル、ノデアアル、是レニ依ツテ本縣ノ狀態ヲ顧レハ、其將來ニ對シ甚ダ危ブマサルヲ得ンモノヲ認メザルノデアアル即チ其一二ノ例ヲ示セバ

第一 階級の意識ノ差異甚シキ事

思想ノ變化ニ依ル、階級の意識ノ差異ハ、從來經濟的位置ノ平等ナル相互ノ間ニハ何等ノ影響ハ無イケレドモ、其差ノ大ナル程痛切ニ感ズルモノデアアル、隨ツテ本縣ノ如キ大地主ノ多イ處、換言スレバ小作人ノ多イ

處ハ、其影響大ナルモノト思ハナケレバナラヌ

第二 地理的關係不良ナル事

從來本爭議ノ頻發セル處ハ、第一人口ニ比シ耕地反別ノ廣キニ失セル處、第二人口ニ比シ耕地反別狭少ナル處デアツタ、而シテ以前ノ爭議ハ、第一ニ屬セル地方ニ多ク、而カモ強硬デアツタガ、今日デハ反ツテ第二ニ近カキ地方ニ多イ様デアアル、本縣ハ他府縣ト比較スレバ人口ニ比シ耕地反別ガ多イカラ、目下ノ處余リ多クノ紛擾ヲ見ナイケレドモ、更ニ翻ツテ考ヘテ見ルト、耕地反別ノ人口ニ比シ尠イ地方ハ都會地ニ近カク且ツ文化ノ度ガ進ンデ居ルノデアアルカラ、小作人モ總テ打算的デアツテ、若シ地主ニシテ其要求ヲ容レザレバ他ノ職業ニ移リ得テ一面生活ノ安定ヲナシ一面農村ニアリテモ、之レニ依リテ耕地ニ適當ナル人口トナリ遂ニ農村ノ安靜トナルノデアアルガ、之レニ反シテ人口ニ比レ耕地多キ地方ハ文化ノ遅レテ居ル田舎デアアルガ故ニ、轉業ガ容易デナク又轉住モ容易デナイカラ、自然農業ニ依ツテ衣食センケレバナラヌ人々デアアル、故ニ之レニ依ツテ生活シ得ザル時ハ、其安定ヲ得ル迄テ要求ヲ重ネ、紛擾ハ絶エナイノデアアル、從テ解決ハ實ニ困難ナル事ト思フノデアアル、本縣ハ如上ノ意味ニ於テ地理的關係カフ考ヘテモ本問題ハ重要ナルモノト信ズルノデアアル

第三 教育程度低ク且ツ忍耐力ニ富ム事

本縣人殊ニ農業者ガ極メテ温厚デアツテ、事ニ對シテ忍耐力ノ強イ事ハ本縣人自ラノ覺知スル處デアアル

或一部ノ人ハ本縣人ノ性格ガ此如デアルガ故ニ、地主對小作ノ問題ノ如キモ大事ニ至ラヌト、高ヲ縊ツテ居ル様デアルガ、私ハ反對ニ性格ガ如此ナルガ故ニ、其將來ハ恐ルベキモノト考ヘルノデアル、尤モ今日猛烈ナル紛擾ヲ見ツ、アル地方ハ、其住民ノ性格ガ干燥性ニ富ミ、些少ノ事ニモ熱狂スル爲メニ或ハ恐ルベキモノナリト解シ難キニアラザルモ、又反對ニ常ニ小爆發スル火山ニ大爆發ナキ如ク、比較的慘澹シトモ見ル事ガ出來ルデアル、然ルニ本縣人ノ如キ穩忍性ニ富ム人ハ、所謂勘忍袋ガ強イカラ、余程事ガ重大トナラザレバ奮起セザルモ、其一度立ツニ及ンデハ尋常ノ手段ニテハ鎮撫和解スル事ガ出來ヌノデアル、詰リ小爆發セザル火山ノ爆發ノ如ク其慘澹ハ極メテ大ナルモノト思ハル、ノデアル、尙本縣ハ他府縣ヨリモ教育機關モ整備セズ、又交通機關モ發達シテナイカラ自然他ノ刺戟モ少ク一般ニ智識程度低キヲ以テ本爭議ヲ比較的少ク且ツ輕微ナルモノデアラウト云フモノモアルガ、私ハ教育程度低キモノノ盲滅法ノ紛擾ヨリ恐シイモノハナイト思フノデアアル

以上ハ、反對セン爲メノ反對論ノ如キ譏ヲ受クルヤ、計ラレズト雖モ少クトモ私ハ斯ク信ジテ居ルノデアアル
兎ニ角本縣ノ將來ハ目下各地主ノ考ヘ居ル様ニ、簡易ノモノデアアルマイ、地主ノ時代の覺醒ヲ希望シテ止マンノデアアル、

解決難ノ理由茲ニ有

(三)

現在ノ農村ニハ大ナル錯誤ガアルト思フ、即チ農業及農村ガ、國家ノ存立繁榮上最モ重要

ナルモノデアルト、事アル時ニハ高唱サレルガ、國家ノ政策カラ考ヒテモ、社會ノ人々ノ眼ヲ觀テモ、平時ハ殆ド顧ラレヌ様デアル事ガ其一ツデ、今一ツハ、此頃各地ニ頻發シテ居ル小作地主問題ニ就テ『地主ト小作者トハ利害ガ相反スルカラ解決ガ容易デナイ』ト云フ事デアル

國民ノ大部分ヲ占メ居ル農民、國土ノ大部ヲ使用シテ居ル農業、國民ノ食糧ヲ生産シ、其生活ヲ安定セシムル農村ハ、何レノ時代ニ於テモ重要デ無ケレバナラス、夫レガ平時ニ於テハ、全ク忘レラレ居ルコトハ未ダシモ、甚シキハ社會ニ輕侮セラレ、虐ラレ、殆ド無人格者ノ如キ取扱ヲ受ケツ、アルコトハ、確カニ前後矛盾デアツテ、農業及農民ノ發達シナイ理由モ亦此處ニアルマイカ、夫レハ或ハ農業又ハ農村ノ、他ト比シテ地味デアルト云フ事ト、其業務ノ性質ガ、他ノ刺戟ガ少ク且ツ教育ノ程度ガ低イノトガ原因シテ居ルカモ知レヌガ、又地味ナル上ニ其因襲の温厚穩忍ナル其性格ヲ、爲政家及社會カラ見縊ラレタ關係カモ知ラヌ、併シ矛盾ハ確カニ矛盾デ、何人モ否ム事ハ出來マイ、而シテ地主ト小作人トカ利害ガ相反スルモノデアルト云フ事モ、見様ニ依ツテハ左様ニモ考ヒラル、即チ小作人ハ地主カラ耕地ヲ借入レテ耕作スルモノデアルカラ、小作料ノ増減ニ依ル利害ハ、相容レヌケレトモ、私ハ如何シテモソナ不埒ノ考ヒニハナレヌ、如何トナレバ、今次ノ地主小作人ノ爭議ハ、單ニ小作料ノ不當ニノミ原因シテ居ナイ、表面ノ理由ハ或ハ然ルモノガ多イカモ知レヌガ、實際ハ夫レノミデハナイ、吾人ガ前項ニ述べタ如ク、本問題ノ眞因ガ、『階級の意識ノ差異』ニアルモノトセバ、小作料ヲ割引シタトテ、本爭議ガ終息スルモノトハ考ヒラレヌ、多年地主階

級カラ受ケタ實際的壓迫カラ逃レヤウ、自由ノ境涯ニ立チ歸ラウ、人格者トシテ社會的地位ヲ獲得シヤウト云フ夫レガ爭議ノ眞因デアル以上ハ、小作料問題ハ從デアル、隨ツテ小作料割引問題ノ解決ヲ直チニ本爭議ノ解決ト見ルノハ早計ノ議ハ免レマイ、尤モ往古ニ於ケル爭議又ハ現在ニ於テモ時代的ニ覺醒セズ、只人眞似的ニ或ハ他ノ煽動ニ依ツテ起シタ少數ノ爭議ハ、例外トシナケレバナラス、然ノミナラズ、地主モ小作人モ農家デアツテ(多少ノ異例ハアルケレド)何レモ生産増加ト其價格ノ騰貴トヲ常ニ企圖シ、且ツ之レニ依ツテ生活ノ資ヲ得ルモノデアルカラ、利害ハ常ニ一致スルモノト云フベキデアル、特ニ對外、例令ハ先年ノ米價向上問題ノ如キ、生産者對消費者ノ爭議アル場合ヲ想象セバ、思ヒ半ニ過ギヌデアラウ、仰々今日地主對小作問題ノ紛糾シ其解決難ノ高唱セラル、以所ハ要スルニ『兩者ノ利害相反ス』ヲ前提トスルカラデ、若シ之ノ誤解ヲ鮮明ニシ『利害一致スルモノトナリ』ト認ムルニ至ラバ、地主ハ進ンデ小作人ニ、小作人ハ打チ解ケテ地主ニ相談ヲ持込ム事ニナルデアラウ、而シテ今日ノ様ニオ互ガ穩密ノ間ニ相對持スル事ハ恐ラク無カラウ、兩者ノ利害ガ相反スルト云フ考ヒガアレバゴソ爭議モ起ルガ、農民ノ大部分ヲ占メテ居ル小作人ノ人格ヲ認ムル事モ其生活ヲ安定セシムルコトモ、農村全体ノ利益デアアル、ヤガテハ國家ノ基礎ヲ強固ニスル所以デアルト地主ガ認メタナラバ、小作人ノ要望ナクとも地主ハ之レガ爲メニ努力スル、又努力シナケレバナラス、即チ人格者トシテ遺憾ノナイ様ニ教育ヲ進メ生活ニ不安ノ無イ様ニ生産増加ニ斡旋シ更ニ生活ノ改善ニ對シ獎勵ヲ加ヘタナラバ、如何ニ頑迷ナル小作人デモ恐ラク爭議ハ起シマイ、今日各地ニ本爭議ノ頻々トシ

テ起ルノハ、詰リ社會ノ者全体ガ以上ノ視安イ理解ガナカッタ結果デ、直接責任者タル爲政家及ビ地主ハ少クとも其不用意ノ責ハ免レマイ

十二

最近各地ニ小作爭議ガ頻發スルヤ該問題ハ社會問題中最モ重大ニシテ且考慮研究ヲ要スル事項トシテ社會全般カラ注目セラレテ居ル、今迄平靜デアツタ農村ガ何故カク一時ニ八釜數ナツタカト云フニハ時代の自由解放思想ガ其徑トナリ他ハ經濟的自覺ガ其緯ヲナシテ居ルノデアアルハ勿論デアアル一面之ニ對スル社會ノ態度モ甚ダシク之ヲ助長シタカノ感ガアル、即チ或地方ニ一ノ爭議ガ起ツタト假定スル、スルト深ク其現實ノ問題ヲ究メズシテ只單ニ『小作爭議』デラガ故ニ譯モナク小作ニ同情シ之ヲ擁護シ地主ヲ攻撃シテ痛快ガツテ居ル向モノイデハナイ、換言スレバ爭議ヲ起ス小作ヲ覺醒セル小作ト稱揚シ然ラザル小作ヲ暗愚ノ連中也ト斷定セルカノ觀ガアルノハ自分ヲ居常甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル處デアアル

成程現在ニ於ケル地主小作間ノ關係ヲ(分配ヲ主トシテ之ニ附隨セル舊來ヨリノ習慣)最近ノ思想ヲ以テ觀察シタナラバ隨分無理ナ處モアリマセフ否慘虐ト思フ程度ノモノモナイデハナイ、然シ農業ノ事タルヤ其性質ガ生産技術ノ進歩ニマレ制度上ノ進化ニマレ總テ漸進的ニ歩一步ト進ンデ來タノデアアル、ソレヲ大戰後ノ新思想ニ照觀シテ時代遅レデアルカラト云フテ直チニガミガミ云へ出シテ折角築キ上ゲタ基礎迄モ急進的ニ破壊セントスルガ如キハ果シテ農村將來永遠ノ爲ニ利益デアリマセフカ、私ハ農村文化ノ建設上現在ノ制度ニ

ハ甚ダ不満ノ一人デアアルガソレヲ遂行達成スルニハ矢張農村ノ人ガ今少シ醒メテ平靜ニ根強ク文化的ニ行動ヲ採ル必要ガアリハセヌカト思フノデアアル遮莫現實ノ問題ヨリ所感二三ヲ記スコト左ノ如シ

一 現下ノ小作紛争ハ農村ノ爲幸カ不幸カ

經濟的ニ醒メ道德的ニ盲トナリ思想的ニ惡化ノ傾向アル現下ノ小作問題ヲ見驚愕ノ餘リ處スベキ方策ヲ知ラナイ地主ヤ(時代のニ醒メザル地主)農村壞滅力衰亡カノ如ク悲觀スル論者モナイデハナイガ、自分ハ此ノ紛争ハ一面カラ見レバ農界ノ將來ニ對シ却ツテ幸福ヲ招來スルモノデアアルト考ヘテ居ル、何故ナラバ現在ノ紛争ハヤガテ來ルベキ『農業者對非農業者ノ大戦争ノ斥候戰トシテノ一種ノ濶踏ミデシカナイ』カラデアアル我國ハ古來カラ農本ノ國ト稱シ尊農ノ國ト云フテ居ルガ事實ハ之ト大ニ異ナリ我國程農(百姓)ヲ卑下シ無頓着デアツタカ國……社會ハナイデアラロウ、之ヲ事實ニ見ルニ農業上ニ於ケル教育的施設ヲ云ヘ、農業保護ニ關スル法制ト云ヘ或ハ獎勵機關ニ對スル政府ノ態度ト云ヘ一トシテ吾人ノ意ニ滿チテ居ルモノハナイデハナイカ！……

然ルニ食糧問題ニ就テ不安ヲ感ジテ以來多少農業ニ注目スル様ニナツテ來加フルニ最近ノ小作紛争ガ頻發スルノデ著シク國家社會ノ注目ヲ引キ遲延キナガラモ色々法律モ制度モ制定セラレムトシテ居ルノデアアル以上ノ状態デアアルカラ農業ノ利益アドト云フ事ニ就テハ餘リ研究サレテ居ラス、甚ダシイ事ニハ今デ小作料ノ公平ナル分配率ヲ決定スベキ公率スラ見出シ得ナイノデアアル

ソレガ此ノ紛争ニヨツテ刺戟セラレ急激ニ研究セラレテ居ルガ如何ニ研究シ計算シテモ不足ナノハ不足デアアル、總体的ニ利益ノナイ農業ニ小作ノ云フ通りニシテヤレバ地主ガ立ツテ行ケヌ、地主ノ云フ通りニナツテ居レバ小作ガヤリ切レヌ、茲ニ於テ國家社會ハ何トカ此ノ基礎産業ニ對シテ考ヘテクレネバナラス、地主モ小作モ早ク醒メテ互ニ紛争ヲ止メテ手ヲ握リ合ヒ所謂共存共榮ノ爲全体のニ農業ニ利益否正當報酬アラシムル様第三者ニ要求セネバナラス又其時機ガ來ネバナラス、何時迄モ親子喧嘩ヲシテ居ツテハナラス、弱イ農家ガ益々弱クナル、今ノ小作紛争ハ此ノ結論ヲ早メル爲ニハ却ツテ幸福デハナカロウカ

二 地主ノ調査ト小作組合ノ調査

多クノ人ノ中ニハ地主ト云ヘバ誰レモ皆強慾デ小作ヲ虐ゲテ大キクナツタモノ、様ニ思ツテ居ルモノモアル様デアアルガ決シテソナモノデナイ、同様ニ小作組合ト云ヘバ直チニ減免強要ノ爲ニ存在シテ居ルモノダロウ位ニ誤察シテ居ル地主モ少クナイカ前者ト同様全部ガソウデハナイカラ初メカラ虐待セヌデ善導セネバナラス

随分惡性ノ札付ノ…小作組合デモ誠意ヲ以テ教導スレバ案外善導ガ出來ル、此ノ點ハ強慾頑迷ノ地主ヲ説明スルヨリ寧ろ容易デアアルカラ社會モ小作組合ト聞イタ丈デ譯モナク毛嫌セヌデ同情ヲ以テ温和ニ善導シテ貰ヒタイ

小作紛争ガアツテモ輕卒ニ獨斷的推斷ヲ下サナイデヨク現實ノ問題ニ就テ地主ト小作間ヲ充分精査探究シテ

而シテ後批評シテモライタイ、凡テ物ニハ其ノ環境ニヨリ、沿革歴史ニヨリ、或ハ相手方ニヨリ特殊ノ事由ガ存スルカラソレ等ニ就テ充分研究シテカラ理非曲直ヲ定メテモライタイ
デナイト徒ニ風評ノミ大デ慮ハ更ニ慮ヲ傳ヒ益々農民思想ノ惡化ヲ助長スルノミデ百害アツテ一益ナイカラデアアル

三 爭議仲裁ト系統農會

一地主ト其小作間ニ起ツタ爭議ト雖一地主ノ個人問題トシテ葬ツテシマフベキモノデハナイ、一波ハ萬波ヲ起シテ農業發達消長ニ甚大ノ影響ガアルカラデアアル、從來ノ經驗ニヨルニ地主モ小作モ共ニ系統農會ナドガ仲裁ニ入ルコトヲ甚ダ好マナイ傾向ガアル
小作側ニ云ハセルト農會ヤ役人ハ地主ト常ニ親シクシテ居ル、時ニヨルト地主ノ爲ニハ轉任モ余義ナクサレルモノデアアル、從ツテ彼等ノ仲裁ハドウセ吾々ニ利益アル様ニシテタレスト、又地主ノ方デハ暗ガリノ耻ヲ明ルミヘ出ス様ニナルカラ……ト、歸スル處ハ何レモ我儘ヲ云ヘタイカラデアハナカロウカ、何レモ不分明デモ少シデモ利益ヲ得タイカラデアハナカロウカ、成程吾々ハ地主ニ親シミ又地主ハ大ナル負擔ヲシテ居ルガソレモ畢竟ハ農事ノ改良進歩ヲ計リ度イ爲デアアル、農事ノ改良進歩ハ多數ヲ占ムル耕作者ヲ度外シテ果シテ遂行シ得ルデアロウカ、此ノ點カラ吾々ハ耕作者ニハ一層ノ敬意ト尊重トヲ怠ラナイノデアアル、又第三者ノ位置ニアツテ比較的理非曲直ガ分ルノデアアル、局外カラ見テ居ルノデアアルカラ比較的公平デアラウト思ハレル

四 結 言

故ニ疑フ事ナク仲裁ヲ申込マレタイ、地主小作者共ニ公明ナル態度ヲ以テ圓滿ナル解決ニ資シテモライタイ
都市中心主義ノ文明建設、都市中心主義ノ經濟制度完成ハ決シテ國家ヲ永遠ニ興隆セシムル所以デアリマセン、國家社會ヲ永遠ニ健全ニ内容的ニ充實セシメ行カウトスレバ何ト云フテモ農村ノ充實ヲ計ラナケレバナラス

茲ニ於テカ吾人ハ現在ノ農村ニハ各種ノ方面ニ亘ツテ文化的施設ヲナシ以テ農村ノ産業ヲ愈々振興セシメ農村ノ人心ヲ益々緊張セシメネバナラス、之ヲ遂行セシメントセバ今一層地主ヤ先覺ノ士ノ覺醒ヲ促シ以テ經濟的ニハ地主ノ都會投資ヲ農村投資タラシメ小作者ニハヨク地主ノ眞意ヲ諒解セシメ之ガ利用ヲナサシメ以テ新シキ農村文明ヲ建設スルコト、ソレニハイツ迄モ爭議ヲヤツテ居テハナラス、オ互ニ争ノ手ヲ文化建設ノ方ニ集メネバナラス

十三

地主小作問題ノ起リツ、アル原因ニ就テ考フルニ思想ノ變化ハ其原因ノ一ツナルベシト雖モ是ハ寧ロ誘因ト觀ルベキヲ至當ト考フ元來小作人ノ大部分ハ好ンテ事ヲ起スモノニアラザル事ハ昔ヨリ所謂ヌシヲ以テ今日ニ至レルヲ以テモ證スルヲ得ベシ如何ニ思想ノ變化アリシトハ謂ヘ今迄餘リニ順朴ナリシ小作人社會ガ急ニ現在ノ如ク公々然ト問題ヲ惹起シ又ハセントスル傾向アルハ他ニ原因トシテ有力ナル事柄アルベキヲ信ズ

即チ『小作利益ノ漸次減シ來リ最近ニ於テ急激ナル社會狀態ノ變化ハ遂ニ小作人ノ生活ニ不安ナラシメント
迫リツ、アル事』是レナリ元ヨリ地主ニ於テモ公課式ハ準公課ガ増加シ土地ニ對スル利益漸減シ來リ所謂割
ニ合ハザル傾向近來益々其甚シキヲ加ヘツ、アルニ相異ナキモ其生活ヲ不安ナラシムル迄迫リツ、アリトハ
考ヘラレズ(浪費セザル限リ)斯ク言ハバ或ハ吾等ヲ目シテ小作側ニ加担スル不公平者トナス者アランモ吾等
ハ事實ニ於テ大ナル見誤リナシト信ズル者ナリ要スルニ該問題ハ小作ノ生活難主因トナリ思想ノ變化或ハ之
ヲ惡用スル煽動者等ガ有力ナル誘因ヲナシテ起リ來ルト考フルモノナリ

次ニ之レガ對策ニ就テ考フルニ既ニ紛争ヲ生ゼルモノニ對シテハ元ヨリ中ニ不穩當ナル分子モアルベキヲ以
テ從來ノ如ク役人ノ間ニ合ハセ的仲裁ハ寸毫モ効アラザルベク一ニ有力ナル法(小作法ノ如キ)ノ解決ヲ待
ツヨリ外ナカルベシ而シテ之レガ豫防策トシテハ元ヨリ小作界思想ノ善導其他小作者側ニ對シテ策應スベキ
事柄ナカルベカラザルハ勿論ナルモ吾等ハ先ツ第一ニ『地主ガ時代ニ順應シタル自覺ヲ以テ該問題ニ對シテ
ハ常ニ先手ヲ打ツベク考慮アラン事』ヲ切望スルモノナリ例ヘバ温情主義洵ニ可ナリ然レ共時代思想ニ向ヒ
ツ、アル小作者ニ適應シタル温情主義ナラザルベカラズ又例ヘバ北蒲原郡某地主ノ意見ノ如ク補助機關タル
地主會ノ時代化シタル活動ノ如キハ吾等ノ最モ望ム所ナリ其他自作ヲナシ常ニ農業狀態ヲ心得又ハ小作人ニ
密接シテ常ニ其内面ヲ熟知シテ獎勵方法ヲ立ツル等豫防ノ効果決シテ少カラザルベシ
斯クシテ尙ホ事ヲ構ヘ不當ノ行動ヲ敢テスル者アラバ宜シク法ノ解決ニ依ルベキナリ

十四

- 一、增收事業ニ對シ地主ハ層一層助力ヲナス事
- 二、中小作ノ制度ヲ廢スル事
- 三、立見制度ヲ廢スル事
 毎年立見ノ入ル處ハ數年ノ平均ニテ常免トシ見通リト云ツテ入付米ノ決定セザル處ハ直チニ決定スル事
- 四、此際入付増ヲ行ハザル事
- 五、純小作ニ對シ地主ハ二、三反ノ土地ヲ相當代價ヲ以テ賣却スル事
- 六、穀物最高最低價格ノ公定

十五

- 地主對小作人問題ハ現在將來與ニ農界ニ横ハル重大問題ニシテ此ノ疾患ノ存スル所ニ農村改善ハ期スベカラ
ス、サレバ其振否ノ根底トモ云フベキ重大事ト惟思ス
- 今地主對小作者問題ノ惹起セラル、原因ヲ案スルニ
- 一、生産分配ノ不均衡ヨリ起ルモノ
 - 二、凶不作時ニ於ケル小作料ノ減率ヨリ起ルモノ
 - 三、思想變遷ニ伴フ階級的對抗ヨリ起ルモノ

一、生産分配ノ不均衡ヨリ起ル場合

之ハ其地方ノ文化的設備ノ向上、經濟界狀態ノ推移耕地整理等ノ結果ニ依リ隨時起ル問題ニシテ其地區ノ狀態ヨリ止ムヲ得サル事情ニ出ツル場合多ク從テ兩者ノ一到點ヲ見出スコトモ至難ニアラザルベシ

二、凶不作時ニ於ケル小作料減率ヨリ起ル場合

凶不作時ニ際シ其程度ノ決定ハ兩者自然ノ減收ヲ免レザルノ際更ニ利害相反スル小作料ノ減率ニ關係アルヲ以テ時ニ激烈ナル爭鬭ノ行ハル、ヲ見ルモ永續的ノ惡性ヲ帶ビズ

三、思想變遷ニ伴フ階級的對抗ヨリ起ル場合

之ハ近來世界の風潮ニ染化セル結果トモ稱ヒラル、モ、尙從來隸屬的關係ニ甘シタル小作者ハ四民平等ノ御治下ニ置カレ、同等ノ人格ヲ認メラレ一方無學ナリシ父祖ノ代ハ去リテ教育アル子孫ノ代ニ至リ印刷物其他ノ文化機關ニヨリテ世事ヲ知ルノ便利ヲ得ルノ結果少クモ親地主子小作ノ時代ハ經過セルニ拘ラズ尙ホ『長キモノニハ卷カレヨ』泣ク子ト地頭ニハ勝レヌト小作者ヲ壓迫スル地主ノ存在スルコト又其旨意ハ可ナリトスルモ所謂恩情主義ナル美言ニ暫クヲ安諭セントスル地主ノ如キトモニ時代的ニ色盲ト云フベク衆寡敵セズノ道理ニ則リ多衆ナル小作人ノ結束ハ寡少ナル地主ニ當ルニ充分ナル勢力ノアルコトヲ小作者ハ覺知セリ同時ニ小作人ナル冠稱ハ彼等ニ取リテ如何ニ温

情ヲ垂レラル、トモ隨喜シ難キモノナルベク機會ヲ得テ此冠稱ヲ脱却セントスル鬱心ノ濃厚ナルハ當然ノコトニシテ又此ノ向上心ノ缺除セル氣風ノ農村ハ其前途頼敷キモノト云フベカラズ

地主ハ益々其大ヲ加ヘント努メ小作者ハ自作階級ニ入ラントスル兩者不斷ノ競争ハ小作者ヲシテ或ハ地主ヲ妬視セシメ或ハ失望ノ悲觀ニ泣カシメ、時ニ天災或ハ經濟的事變ノ機ヲ得テ鬱心ノ勃發ヲ見ルモノナルベク今後ニ於ケル地主小作者間ノ紛擾ハ此ノ色彩ヲ帶ビタルモノ多ク最モ研究ヲ要スベキ事項ト信ズ

地主小作者問題對策

以上ノ如キ關係ガ兩者ノ扞格ヲ生ズルモノニシテ若シ一村一字ニ於テ地主小作者間ニ階級的色彩ヲ帶ズル紛擾ノ勃發ヲ見シカ其村落ハ永ク内争ノ因ヲ胎シ農村振展上ニ禍スル所極メテ深刻ナルヲ以テ當事者農界關係者ハ勿論苟クモ邦家ノ順調ナル發展ヲ希フノ士ハ未前ニ此ノ疾原ヲ融和消散セシムルコトニ意ヲ致サルベカラズ之ガ對策ノ二三ヲ條記スレバ

一、一郡位ヲ單位トセル郡町村農會、地主、小作者、新聞記者、其地ニ於ケル樞要ノ地位ヲ占ムル人士ヲ網羅セル農政研究機關ヲ組織シ常ニ農政上ノ隔意ナキ意見ヲ交換シ研究ヲナスト同時ニ若シ前項ノ如キ原因ニ依リ地主小作者問題等ノ生ズル場合ニハ該會ノ協定ヲ經テ公平ナル立場ヨリ兩者ノ融和ヲ圖ルハ最モ効果アルベシト信ズ

二、地主ハ常ニ農村ノ實狀ヲ瞭知スルノミナラズ廣ク各地ノ模様ヲ調査シ苟クモ社會的智識ニ於テ小作者ノ背後ニ立ツガ如キコトアルベカラズ以テ來ルベキ農村問題ニ對シテ未然ニ事ヲ消散セシムルノ覺悟ヲ要ス

又壓迫、温情途ヲ異ニスレドモ何レモ考慮ヲ要スベキモノニシテ寧ロ小作者ヲ平等人格者トシテ對接スルト同時ニ彼等ノ眞要求ヲ察知シ機ヲ得テ土地ヲ割愛シ土地所有者タル農村生活者ニ取リテノ絶大安悅ヲ得セシムルコト等ハ最モ望マシキコト、信ズ

三、小作者ハ所謂今日アル小作組合ニアラサル小作組合ヲ設置シ生産、販賣上ノ技術、方策ノ研究、小作者ノ地位向上ヲ圖リ或ハ頼母子請ノ如キ相助ノ力ニ依リテ漸次土地購求ニ努メ又場合ニ依リテハ地主側ニ對シ正當正義ノ態度ヲ以テ小作者ノ立場ヲ擁護スル等ノ如キハ最モ望マシキコト、云フベシ事實今日ノ小作者ノ生産狀態ヨリ見ルモ地主ニ爭鬭ヲ挑ミテ僅カノ歩引ニ日ヲ費ヤサンヨリ勤勞ニ肥培、除害ノコトニ當タラバ其增收ヲ以テ小作料ヲ支辨シ得ルハ難事ニアラズト信ズ

四、小作年限並ニ小作料ノ短縮増減ハ地方ノ經濟的變遷ニ依リ止ミ難キモノナリト雖モ之ガ契約ニ際シテハ可成長期ニ亘ルハ耕作者ノ愛地觀念ヲ高メ增收ヲ期スル上ニ効果アルベシ長期ノ契約ニ際シ其ノ間地方ノ實狀ニ逼ラレ小作料増額ノ止ムナキニ於テハ小作者モ諒解スルヲ穩當ナルベシト雖小作者ノ勤勞的施設ニ依リ增收ヲ見ルヲ以テ直ニ小作料増額ノ基礎トナスガ如キハ橫暴ノ讒リテ免レサルノミナ

ラズ小作者ノ增收的氣勢ヲ挫キ小作料減額ノ消極的方面ニノミ走ラシムルヲ以テ謹ムベキモノト信ズ
五、小作者ハ殆ンド資力ノ點ニ於テ微弱ニシテ積極的農法ヲナサントスルモ資力上ナシ得ザル場合多キヲ以テ資力名望、智慮ノ兼備セル地主ハ小作者ヲ誘掖、向上セシムル一法トシテ彼等ト利害共通ノ事業ヲ計畫シ福利ノ増進ヲ圖リ以テ人心離反ノ機會ヲ生ゼシメザル様努ムベシ

十六

弱キモノ、自覺理解ハ世界戰局ノ生ミシ一大產物ナリ勞働運動ハ起レリ一千餘萬ノ小作者モ幾千年ノ長夢ヨリ醒メントス國家ノタメ誠ニ喜ブベキ現象トシ衷心快感ニ堪イズ

此ノ時ニ當リ世ノ智識階級有産階級及爲政家ノ慎重ナル研究ト熱誠ナル指導トヲ以テ誤リナカラシムルニ於テ始メテ農村問題ノ眞ノ解決ヲ得國家ノ基礎泰山ノ重キヲ成サン

絮說スル迄モナク我國ノ農政中小作制度ノ如キハ今尙封建ノ遺制ヲ踏襲シ時代順應ノ政ヲ施スニ躊躇スルガ如シ而シテ農村固有ノ傳統的慣行ニ安ンジ常ニ非文明的ニシテ矛盾セル事實ヲ甘受スルノ狀態ナリ斯クノ如キ弊風ハ此機會ニ於テ速カニ掃セズンバ永ク共存共榮ノ農村建設實ニ至難ト云ハザル可カラズ
今其ノ實際問題ト對策ニ付一二ノ卑見ヲ陳ベン

一 地主會

現在ノ地主會ハ生産検査當時生レ地主自衛機關ノ如キ觀アリ從ツテ之レニ對應スベキ小作會及小作組

合ノ設立ヲ促セシ傾向アリ故ニ此際地主會ヲ解散シ現在ノ地主ヲ以テ農政會ナル機關ヲ組織シ常ニ大局ニ着眼シ系統農會ト聯絡呼應シテ農村問題農民ノ啓發ニ全力ヲ傾注スルコト

二 自治機關及協議機關

現在ノ地方町村ニ於ケル制度ハ一部少數ノ有産階級ニテ獨占シ此資格ナキモノハ終生村及字政ニ參與スルコト能ハズ

ス
九
月
一
日

三 小 作 料

利己主義ノ地主及土地等級ノ差甚シキタメ同一耕地ニ於テ小作料ノ懸隔甚シ依ツテ地價修正斷行ト同時ニ小作料ノ輕減(一反歩一石二斗以下)ヲ圖ルコト

四 土 地 異 動

農村ノ生命タル土地ノ他町村異動ヲ防グ方法ヲ講ズルコト
小作料ノ低減小作者ノ依頼心ハ他町村地主(抱持)ノ場合ニ多シ

五 當局及有力家ノ覺悟

町村ノ先覺者ト自任スル人々ハ一致團結シテ左ノ事業計畫ヲナスコト
教育的施設(補習教育) 經濟的施設(產業組合) 生産的施設(農會)

六 地主ノ温情的施設

對策、縣費ヲ以テ適當ノ補助ノ下ニ町村ニハ技術員、社會指導者(產業組合及一般民育)專科教員ヲ常置シ前二項活動ヲ具體化スルコト
尤モ一町村ニテ設置困難ノ場合ハ數ヶ町村聯合スルモ可ナリ
(1) 地主、小作者各々一ヶ年一反歩ニ付米二升以上積立ヲナシ之レヲ其小作地ニ附屬セシメ平時ニアリテハ經營資金トシ非常時ニハ救濟資金トス
(2) 年二回位(春秋)農事講演ヲ兼テ部落ノ會所及地主ノ宅ニ於テ地主小作者ノ懇親會ヲ開キテ親睦ヲ計ルト同時ニ事業ノ改善ニ資スルコト

七 小作權ノ確立ト宅地賣買ノ制限

土地愛護心ヲ助長シ準地主タル觀念ヲ得サシムルタメ永小作制度ニ改ムルコト
小作者ノ住宅及土地マデモ擔保品トスルノ弊害除去

八 系統農會ノ施設

系統農會ハ常ニ熱烈ナル態度ヲ以テ技術上即チ品種改良、肥料配合施用、農業經營、肥料農具農產物價格販賣購買方法等ノ宣傳ト同時ニ優良小作者ノ美談成功談等
覺醒セル地主ノ施設事業等農政ニ關シ通俗的農村指導ニ關スル簡易ナル印刷物ヲ年少ナクモ二三回位

農民一般ニ配布スルコト(尤モ農政會ノ如キ地主ノ力ヲ藉ルモ可ナラン)
九 農民道義心ノ鼓吹

上級農會ニ社會主事ヲ置キ現代ニ適應スベキ報德主義ノ宣傳ニ務ムルコト

此場合ニハ活動寫真又ハ講談師等ヲ利用スレバ最モ可ナラン

十 農業經營法ノ調査

各地方ニ於ケル模範農家ノ經營法ヲ調査シ之レヲ其地方ニ普及セシムル施設

十七

農村問題ハ農民ノ生活問題ニシテ單ナル農業問題ニアラズ即チ地主小作問題亦文明ノ進歩ニ伴ヒ小作者ノ文化生活的慾求ニ立脚セル生活問題ニ外ナラズ、サレバ之レガ解決ニ當リテハ元ヨリ産業的政策ヲ必要トスモ雖モ而カモ其ノ大部分ハ社會的政策ニ候ツテ根本的解決ヲ下スヲ必要トセン、吾人ハ暫ク吾人ノ立場ヨリニ三卑見ヲ述ベントス

一、小作農家ノ經濟的自立

地主小作問題ガ小作者ノ生活ノ不安ニ立脚セントセバ小作農家ノ經濟的自立ト向上トヲ計リ生活ノ安定ヲ與フレバ解決則チ成ル、今早速ニ其ノ效果ヲ期セントセバ小作米減免ニアリ、然レモ吾人ハ親シク農村ノ實況ヲ目撃シ現今ノ中産階級者ノ經濟逼迫ノ爲メニ其ノ數漸減ノ傾向ヲ知り、又著シク困難ノ立場ニ在ルヲ見、

尙ホ大地主ト雖モ他ノ商工業者ノ資本案ニ比シテ利益甚ダ少ナキヲ知ル以上到底地主小作間ニ於ケル利益分配上ノ協調ノ如キハ殆ンド其ノ餘地ナキモノト認ムルガ故ニ特殊ノ地方ヲ除ク外小作米減免ノ如キハ言フベクシテ行フ能ハズサレバ吾人ハ之レヲ他ニ求メサルベカラズ是レ産業政策ノ必要トスル所以ナリ、今之レヲ積極、消極ノ兩面ヨリ窺ヒバ

積極的 生産ノ増加、即チ農事改良耕地ノ改善、農業組織ノ改革又ハ生産物ノ高價販賣等
消極的 生産費節約、必需品ノ安價購買、貯金ノ獎勵金融機關ノ設置等

而シテ是レ等ノ事業ハ農會ノ發達産業組合ノ普及發達及兩者ノ提携ニヨリテ最モ適確ニ其ノ效果ヲ擧ゲ得ベシ、即チ農會使命ノ實現ハ忽チ生産ノ増加トナリ、年貢米ノ如キハ殆ンド問題トスル所ニアラズ、又産業組合ノ發達ハ懸テ富ノ増加トナリ生活自ラ安定シ人心其ノ德ニ服スベシ、然ルニ未ダ農村ニ産業組合スラ普及ヲ見ルニ至ラズ况シヤ發達ヲヤ殊ニ町村農會ノ如キハ農民ノ團體機關トシテ必要缺クベカラザルモノニ於テスラ單ニ名ノミニシテ其ノ存立ヲ認メラズ只形骸ノ觀アルモノ少ラズ此ノ一事既ニ地主ノ無自覺怠慢ニ座ス、吾人ハ地主ガ舊來ノ如ク只傲然、下ニ臨ミ農村ノ爲メニ不在主義(精神的ニモ)ヲ把持シ又ハ權勢ノ爭奪ヲノミ事トスルガ如キアラバ徒ラニ自カラヲ識ルノ時代ヲ作出センノミ、吾人ハ切ニ地主ノ自覺的活動ヲ望ミ徒ラニ施スノ愚策ニ出デズ相共ニ能率ノ發揮ニ努メ小作農ノ經濟的自立ヲ計ラレンコトヲ望ムモノナリ

二、機見ノ廢止

耕地ニ等級アリ、下田地ト稱スル箇所アリ天災ノ爲メニ收穫一定ナラズ從ツテ地代ヲ一定シ難ク年ニ收穫期ニ及ビテ檢見ヲ施シ斗代ヲ協定スル地方少ナカラズ、極端ナル天災地ニシテ萬止ムヲ得ザル地ニ於テハ檢見亦止ムヲ得サルベシト雖モ、爾後江門ノ築設灌排水路ノ構築、耕地整理ノ施行其ノ他ノ事由ニヨリ若カモ年々相當ナル收穫ヲ得ツ、アル土地ニシテ尙ホ舊慣ヲ墨守シ敢テ此ノ煩ヲナス、斯クノ如キハ徒ラニ小作人ヲシテ土地改良又ハ農事改良等ノ爲メニナス積極的努力ヲ缺如セシメタル所以ニシテ相互ノ不利言フベカラズ吾人ハ出來得ル限り速カニ之レガ廢止ヲ希望スルモノナリ、地主ハ須ラク其ノ地價ニ鑑ミ既往ノ收穫ニ徵シテ常斗代ヲ協定スルヲ可トス、茲ニ於テ小作人ハ始メテ土地改良ヲ施シ又ハ農法ノ改良ヲ企テ依リテ得ル報酬ノ全部ヲ獲得シ、益々地力ヲ高メ能率ヲ發揮シ積極的ニ解決ヲ見ル一手段トモナルベキヤ必セリ

三、指米ノ廢止

普通斗代ヲ案スルニ本米及指米ノ二種ニ區分セラル、モノ多シ而シテ指米ハ多ク本米ノ一割ニ相當セリ、吾人ハ指米ノ起因ヲ探究シテ當然之レガ廢止ノ要アルヲ認ム

今其ノ起因ヲ探スルニ

昔時舊幕時代ニ於テハ諸税金納ノ制ニアラズシテ實米納入ノ制度ナリ、而シテ之レガ檢査ハ頗ル嚴密ヲ加ヒ唐箕萬斛等ノ調製具サイナキ時代ナレバ如何ニ調製ニ苦心スト雖モ合格覺束ナク遙々實米搬入ノ上不合格ノ憂キ目ニ遇ヒ、尙ホモ貯藏中ニ於ケル樹減リハ當然納入者ノ負担ナリト稱シテ指米ヲ徵スルガ如キ苛酷行ハ

レ、厭制政治ノ下民意伸ブルニ由ナク止ムヲ得ス一割ノ指米ヲナシ辛フシテ納入ヲ許容ヒラレタルモノナリ斯クシテ此ノ指米ハ當然小作人ノ負担ニ歸スベシトナシ茲ニ其ノ因ヲ發シテ今日ニ至レルモノナリト云フ然ルニ現時產米檢査ノ施行ヲ見ルニ至リ標準米ヲ定メラレ、規定ノ儀裝ヲ設ケ、小作人ハ自カラ此ノ規定ニ從ヒ各々檢査ヲ受ケ合格米ヲ地主ニ納入シ格差アラバ、各其ノ等級ニ應ジテ賞罰ヲ明カニセリ、指米ノ必要何處ニカアル、然ルニ舊慣ニ從ヒ依然指米ヲ徵シ尙ホ格差ヲ徵スルガ如キハ小作人ヲシテ明カニ三重ノ負担ヲ強ヒツ、アリト謂ツベシ

四、指米ノ廢止ニ伴フ租稅ノ輕減

指米徵收ノ續行モ是レ強テ地主ヲノミ其ノ罪ヲ責ムベカラズ

明治六年地價修正ノ當時此ノ指米ヲ併セテ斗代トナシ、之レニヨリテ地價ヲ算定シ租稅ヲ賦課セル國家モ亦其ノ責ヲ分タサルベカラズ、左サキダニ地主小作間ニ於ケル分配關係ニ於テ調和的最後の對立ニアルヲ認ムル今日、指米廢止ニ伴ヒ同時ニ地主ノ負担ヲ輕減セサレバ益々地主對小作問題ヲ紛糾セシムルニ至ルベシ即チ當然ノ結果トシテ地主ハ指米ヲ廢スベク國家ハ之レニヨリテ生スル地主收入ノ減少ヲ計量シ租稅ヲ輕減スルノ至當ナルヲ信ズ

五、地主小作協調會ノ設立

凡テ專斷ハ事ヲ誤リ厭迫ハ遂ニ爆發ヲ招致ス、小作者ノ知識程度ノ高上ニ連レ事毎ニ意見ヲ聽取シ互ニ協調

ノ必要アリ、之レガ爲メ地主小作協調會ノ如キ協調機關ヲ設ケ以テ双者ノ融和ヲ計ルベシ、即チ利益分配上ノ問題ヨリ斗代金納制ニ對スル値立テ決定ノ如キ或ハ小作權及ヒ地主土地轉賣ニ關スル紛紜等ニ至ル迄テ苟クモ地主小作間ニ於ケル諸問題ニ對シ仲裁ノ地位ニ在リ公平ニ解決スルアラバ效果蓋シ大ナルモノアラン

六、反資本主義政策ノ實施

案ズルニ現代ノ思想問題ハ是レ迄是認シ助長シ來タレル資本主義ノ行間ノ現象ト見ルベク畢竟反資本主義ノ熾火ナルガ如シ即チ現今ノ地主小作問題モ亦此ノ思想ノ流入感染其ノ一因ナルベシ、見ヨ、農村ガ農業ト資本主義トノ接解ニヨリ次第ニ農村ノ中堅タル自作農即チ中産階級ノ經濟的破綻ヲ産ミ小作農ヲ増加シ一面龐大ナル地主ヲ増加セシメツ、アルヲ、(龐大ナル地主ハ純然タル土地收入ニヨリテ然リニアラズ多ク商工業的行爲ヲナシ其ノ利潤ニヨリ更ニ經濟的優位ニ立チ益々其龐大ヲ致ス)即チ農業益々盛ニシテ農民愈々衰フノ事實ヲ示シ、此ノ事實ノ顯著ナル地方地主小作問題紛糾ヲ重ネツ、アルニアラズヤ

凡ソ土地ハ國家ノ至寶ニシテ小數者ノ占有ヲ許サズ可成多數ノ農業者ニ分有セシメ以テ之レガ生産ノ全部ヲ收得セシムルヲ可トセズヤ、近時小農保護ノ聲喧シク種々ノ政策ヲ見ルト雖モ一方ニハ資本主義ヲ是認シ自由競争ヲ助長スルガ如キハ恰カモ藥ヲ用エテ毒ヲ仰グガ如ク勞シテ効ナシ、故ニ國家ハ小農地法又ハ家産保護法ノ如キ制度ヲ設ケ以テ其ノ最下級ヲ保証スルト共ニ一面一定以上ノ土地ノ所有ヲ禁ジ以テ其ノ最高ヲ制限スルガ如キ、或ハ土地累進稅ヲ課スルガ如キ等、何等カノ方法ヲ以テ反資本主義的政策ヲ樹立スルニアラ

ザレバ之レガ根本解決ハ到低困難ナルベシ

七、教化ノ必要

猿ニ利劍ト云フコトアリ、其ノ危險ヤ知ルベカラズ蓋シ精神文明ノ物質文明ニ伴ハザルノ危險ヲ表示セルモノナルベシ、近時物質文明ノ進歩ニ伴ヒ益々世ニ慘禍其ノ數ヲ増ス、之レ精神文明ノ伴ハサルニヨル、恰モ機械愈々精巧ニシテ油益々缺乏セルガ如シ圓滑ヲ缺クヤ必セリ、併シ飢ユルモノノ教化ハ空シ先以テ生活ノ安定ヲ計ルヲ第一トス爲メニ如上述ブル所アリシト雖モ慾求ハ無限ナリ、教化ハ必ラズヤ之レト平行セザルベカラズ、本邦ノ教化事實ヲ見ルニ、甚ダ物質文明ノ進歩ニ伴ハザルガ如シ、爲メニ思想ノ動搖甚敷ク荒怠其ノ風ヲナシ危險其ノ度ヲ増セリ、之レ當局ノ狼狽ト苦心少ナカラザル所ナリトス、乃チ或ル時ハ敬神ノ鼓吹ニヨリテ動搖ヲ防ントシ或ル時ハ武士道ノ精華ヲ敷衍シテ之レガ矯正ヲ試ミントシ、或ル時ハ報德宗ヲ遵奉シテ思想善導ニ努メタルガ如シ、然レドモ效果餘リニ小ニシテ豫期ニ添フ能ハズ遂ニ愈々具体化シ各縣郡ニ社會教育主事ヲ置キ專ラ教化ノ任ニ當ラシメントノ企畫ニ出テタルガ如シ、社會教育主事ヨリ可ナリ、而カモ農業本位ノ縣郡ニ在リテハ農業教育ヲ受ケタル者ヨリ採用スルガ如キハ更ラニ效果顯著ナルモノアラシ然レモ……教化ハ信仰ノ基礎ニ立脚セザルベカラズ此意味ニ於テ自今ノ教育主事ノ效果ヲモ疑ヒナキ能ハズ敬神モ武士道モ報德モ或ル意味ニ於テ皆信仰ニ外ナラズサレド本邦ノ歴史ニ鑑ミ、ヨリ適切ニ人心ヲ指導シ善導スルモノアルヲ思フ、即チ吾人ハ更ラニ千七百餘年ノ歴史ヲ有シ教化ニ最モ功アリシ僧侶ヲシテ此ノ

任ニ當ラシメテハ如何トノ考ヲ有ス、優秀ナル僧侶モナキニアラズ其ノ優秀ナルモノヲ拔擢シテ厚遇以テ教化ノ任ニ當ラシムベシ、

近代僧侶ニ不人格ナルモノ多キ故ヲ以テ世人之レヲ重視セズ國家亦之レヲ重要視セズ重視セザルガ故ニ自重セズ益々人格低下ノ傾向ヲ産メリ、是レ一面社會ノ罪ナラズトセズ

吾人ハ精神文明ノ建設者トシ社會教化事業ノ適任者トシテ僧侶ノ拔擢採用ヲ勸メント欲ス之レ勞少ナクシテ効果大ナルベキモノアルヲ信シテ疑ハズ、本縣ニテ先鞭ヲ附セラレテハ如何

十八

地主小作ノ區別ヲ無クシテ農業ハ協營ニシナケレバナラス

昨秋十一月、岐阜縣可兒郡ノ大地主二三、本問題調査ノ爲メ來縣、先ヅ脚ヲ本郡ニ留メ屈指ノ某大地主ヲ訪ネ其經營振リヲ視察サレタ事ガアル、私ハ案内旁々先方ノ事情等聞カンモノト同道シタ、當時關西方面ハ稀有ノ大洪水ノ爲メ農作物減收ノ聲高ク小作紛擾喧傳サレ比較的鎌入レ遅キ地方トハ云ヘ分配處分方法未解決ノタメ收穫ニ着手スル者一人モ無シト、而シテ態々越後クンダリ迄委員ヲ派遣シテ調査セントスル要旨ハ斯ウデアアル、新潟縣ノ小作者ハ其一戸當耕作面積比較的大也、然ルニ其經營宜シキヲ得ルト見エ未ダ對地主問題ノ聲ヲ聞カズ何等カ特殊ノ經營方法アルベシ我等ノ探ラント欲スルハ其邊ノ消息ナリト、反當入付米、反當收穫米、反當施肥量、曰ク何、々々ト談進ミ夫々手帳ニ書留ム、サレド當地方ハ先方ニ比ベ生産技術ガ到

底角力ニナラズ、ソレデヨク小作者ガ甘ンジテ居マヌエ、コレチア算珠ガ合ヒマスマイ、ドコカニ甘イ處ガアルニ違ヒナイト色々詮索サレタ、私ハ先方ノ一日ノ勞働時間數ト其勞働ニ對スル農家ノ觀念ヲ聞イタ、處ガ先方ハ工業發達ノ影響ヲ受ケテ農家ガ秋收調製ノ多忙ノ際ト雖モ一日漸ク七八時間ヲ普通トスト、當地方ハ朝ハ小暗キ中ヨリ霜ヲ踏ンデ圃場ニ出デ夜ハ間夜廻リニハヨク提灯ヲ點ケテ稻架掛ヲヤリ晚餐ヲ終ラバ直チニ寢ニ就キ少クトモ一時間位進メタ時計ノ十二時ト云ヘバ皆々起キ立チテ粃磨リ粃落シヲ初ム、サレバ睡眠ハ漸ク四五時間ニ過ギズ、斯クシテ夫婦二人ニ長男若クハ長女ヲ加ヘヨク二町乃至三町ヲ耕シ他ニ老ヒタル父、若クハ母ノ執レカニ非戰鬪員ノ子女二三ヲ保育スルガ普通ノ状態ナリト語レバ氏等膝ヲ打ツテ疑念釋明シタリ、結局

- 一、越後ノ百姓ハ勤勞其者也
 - 二、越後ノ百姓ハ女共ノ力ニ負フ所多シ
 - 三、越後ノ若イ衆ハ旅金ヲ貢ギ忙時歸省シテヨク農耕ノ事ニ從フ
- ト云フ事ニ歸着シタリ、尙ホ某大地主ノ最モ賢明ナル施設方法ヲ調査ノ上、氏等新潟ヘ向ヒタリ、車窓異口同音ニ「貴縣ノ地主ハ幸福也、サレド小作ノ現狀ガ何時迄續クカ」ノ一語ヲ私ニ浴ビセタ
- 本縣ノ平穩ナル小作者ノ現狀ガ何時頃迄續クカ？是真ニ問題也、我上越地方ノ地主ハ比較的思想ガ向上シテ居ルカラ自ラ小作者ヲ遇スルニ其道ヲ異ニスルガ故ニ平和也、サレド下越方面ハ然ラザル者ト見エ小作組合

設立二三アリテ地主ニ相對抗ス、サレド關西方面ノ者ニ比スレバ幼稚園也、越後ノ百姓ノ勤勞ハ此レ天惠薄イ氣候カラ受ケタ久シイ間ノ傳統的觀念也、越後女ガヨク働クト云フ事ハ此レ數字上カラ來タ彼等ノ運命也而シテ越後若イ衆ノ旅金ト農繁期ノ歸農トイフ事ハ文化ノ中心地「青年ノタメノ都會」ヨリ比較的遠イ距離ノ結果也、而シテ日本ノ家族制度ノ結果長男ダケハ仕方ナク殘ルガ二男三男ハ旅デ世帯ヲ持ツ者多シ、要スルニ越後ノ百姓ハ利益ハ極メテ薄イガサリトテ他ヘ轉業スルノ能力ト自信ト勇氣ナク、極メテ安易ナル生活ノ様式ニ安ジ乍ラ祖先傳來ノ手慣レタ仕事ニ唯從事シテ居ルトイフニ過ギヌ

其處ニ何等職業的自覺モナク眞ニ生産的技術ノ研讀モナケレバ從ツテ向上モナク經濟的自覺ニ到ツテハ殆ド百年河清ノ感ガアルヂヤナイカ、ケレド交通ト教育ノ進歩ハ越後ノ百姓ヲシテ到底現狀ニ安ンゼシメテオカヌハ火ヨリモ瞭ナ事也

近時「社會政策」ナルモノ當路者ニ依ツテ唱導サル、サレド多ク行ハル、處ノ施設ハ都會ノ爲メノ社會政策ニシテ未ダ眞ノ社會ノ爲メノ社會政策ナル者ヲ見ズ、田舎アツテ都會ハ存立ス、ヨロシク田舎ノ社會政策ニ就イテ一層攻究シナケレバナラス、華盛頓會議ガドウダラフガ、ソナモノカラ綺麗サツパリ線ヲ切ツテスツカリ諦メ觀念ノ臍ヲ堅メテセツセ／＼ト働ク人ガ比較的生活ガ裕カナ百姓デアル、マア模範ニ近イ人々デアラウ、此人達ヲ模範百姓ダト推奨シテ居ル(否シタイ)地主モ地主デアルシ百姓モ百姓ダトオモフ

「世界中デ何ガ一番氣樂ダカ？ソレハ日本ノ地主ト云フ職業デアル」——或ル經濟學者ハソソナ事ヲ云フ

テ居タヤウニオモフ、先ヅ地主ト云フ階級ノ人々カラシテ職業的自覺ヲ強ヒナケレバナラス、其ガ地主小作ノ問題ノ鍵デアラフトオモフ、本縣ノ小作組合等ノ事情ヲ訊イテ見ルニ全ク線香花火ノ形ダ、ナゼナラバ小作者ガ黙ツテ居テモ現狀維持、向見ズノ無賴漢ヲ旗頭ニ地主ニ文句ツケテ多少ナリセシメレバソレダケノ得ダカラ、マアヤラフヂヤナイカト云ツタ具合ダカラ不徹底極マル、言語道斷デ小作モ小作ナレバ地主モ地主ヂヤナイカ、地主小作間ノ圓滿ナル歸決——ト云フ事ハ要スルニ怠惰ナル地主ト怠惰ナル小作ヲ製造スルヤウナモノヂヤナカラフカ、我々ハソソナ妥協的ナ安價ノ歸決ヨリモ、モット徹底的ナ、モット人類的ナ革進ノ途ヲ急ガネバナラス

國家的カラ云ヘバ文化ノ都會本位制ヲ打破シテ都鄙ノ區別ナイ全社會的ナ新文明ノ建設ガ根本ニナラナケレバナラス、其爲ニハ現在ノ營利本位ナ資本主義的ナ商工經濟ガ一般ノ經濟ヲ支配スル狀態カラ改善シテ行カナケレバナラス、先ヅ第一ニ田舎文明ヲ建設シ第二ニ工事ヲ地方ニ分散セシメ第三ニ營利的ナル資本主義ヲ打破シ第四ニ社會的ナ渾一的ナ經濟組織ヲ造ラネバナラス、結局國家ハ眞ニ必要ノ生産ノ方法ヲ樹立シナケレバナラン國民ハ其眞ニ必要ナル生産ノ方法ニ從事シナケレバナラスコトニナル、即チ共存共榮デ私ハ農業協營論者デアル、從ツテ今日ノ如キ地主小作ノ區別ヲ全然無クシタ農業組織ニ改善シテ行カナケレバ嘘ダト思フ、ソレニハ多少劃一的ナ手段ヤ方法ヲ執ルコトハ過渡期トシテ必要デモアラフガ最後ハ眞ノ自治觀念ノ圓滿ナル發達ニ待タナケレバナナルマイ、

以上ハ私ノ抱懐スル思想ノホンノ序ノ口ニシカ過ギス、地主小作問題ニ對スル凡百ノ方法ハ抑々末ノ末ニシテ結局大勢カラ見レバ一時ノ標ダリ仕事テ少シモ眞ニ觸レタ所ノナイ事ハ恰モ華盛頓會議ノヤウナモノデアラウ。

十九

地主對小作ノ問題ハ農業界ニ於テ又社會上ニ於テ重大ナルコトハ今更申上グル迄モアリマセン然ルニ世上小作問題ヲ究ムル者眼前ノ紛擾ヲ見ルニ急テ却ツテ原因ノ探究ヲ怠ルノハ解決上非常ノ缺陷デアリハセンカト信ジルノデアリマス先ヅ各地ニ起ル問題ハ主トシテ左ニ原因スルノデアアルマイカト愚察致シマス

一、小作地面積ノ狹隘ヨリ小作地ノ爭奪ニヨリ生ズルモノ

各小作人競争シテ二人以上ノ者ガ一地ヲ作ラントスル爲メ自ラ入付米ノ昂上セシメタル爲メノ苦痛ニヨリ生ズルモノ、收獲物ガ土地狹隘ニヨリ生産費少ナキ爲メ生活費ノ不足ヨリ生ズルモノ、農業智識ガ増進スルモ增收ハ生産漸減率ニヨリ限度アル增收ニ限度ナキ各小作人ノ競争入付米ノ増額ニヨリ生ズルモノト共ニ小作人ガ各自ガ定住ノ地ニ作地ヲナクスル恐レアリ即チ自己ノ立場ノ安定ヲ缺クニヨリ其ノ恐怖ヨリ生ズルモノ

一、小作地ノ面積過多ニヨリ生ズルモノ

小作地過多ニシテ小作人ノ作地餘リタルモノヲ地主ハ入付米ノ減定ヲ許シ小作セシムル爲メニ小作人

ヲ徒ニ増長セシメ小作自身作ラザレバ地主ハ困窮スルモノナリト云フ誤リタル淺薄ナル見解ヨリ生ズルモノト共ニ自分ハ過多ナル面積ナルヲ以テ總テノ施設上狭少ノモノニ比シ進歩遅ク從テ其收入モ少ク他業勞動者ニ比シ日當少キニヨリ他者ノ羨望ニヨリ生ズルモノ

一、土地移動ニヨリ生ズルモノ

地主ガ大正八九年頃ノ土地價額ノ最高時ニ買ヒタルモノハ小作ヨリ入ル米ヲ現在ノ米價ノ下落セルモノニ利廻リヲ見ル時ハ商工業者ヨリ余リ少ナク其レ等ノ業ト差額大ナルニヨリ入付米ヲ増額シ利廻リヲ成ベク良クシ土地價格ノ上昂ヲ見買受時ヨリ高キ時及少キ資本ニテ買受ケ土地ノ維持ニ困難ナルモノハ賣地スルニヨリ小作人ハ高價ニ買ヒタル地代ハ入付米ヲ増加シ増加セルモノヲ作ラザレバ農業ヲ止メザルヲ得ザルヨリ自己ノ愛土心及自己ノ立場ノ不安定ヲ恐レ其ノ兩方ヨリ生ズルモノ

一、入付米ノ高過ギル爲メ生ズルモノ

昔ヨリ地主小作ハ田入付米ハ全收入ノ三分ノ二ヲ主、三分ノ一ヲ小作トセル慣習ナルモノガ收穫少キ爲メ引高ノ少キ爲メ以上ノ割ガ小作ハ三分ノ一以下ノ收入デハ生活ニ困難ヲ來スモノヨリ生ズルコト現今反二石五斗ヲ得ルモ八斗ノ收入デハ小作ハ到底子弟ヲ教育スルコト不可能ナル爲メニヨリ生ズルモノニテ結局ハ地主ニ毛見引ヲ強請スルモ小作人ノ意ノ如ク引米セズ爲メニ小作團結シテ地主ニ反感ヲ持ツコト

- 一、入米底キニ失スル爲メニ生ズルモノ
土地面積ガ多過ギル場合於テ小作人ノ生活ガ過多ノ收入ニヨリ贅澤ニナリ大正八九年頃ノ様ニ米價ノ最騰貴時代ノ過分ノ生活ガ大正九、十年頃ノ下落時代ノ生活ト變ラズ爲メニ自己ノ收入ヲ増サンガ爲メ地主ニ對抗スル策ヲ講ズルナリ
- 一、地主ノ處置ノ不滿ヨリ生ズルモノ
イ、地主ノ入付米ノ増減ニヨリ生ズルモノ ロ、毛見引米ノ多少ニヨリ生ズルモノ
ハ、小作ニ對スル賞與及表彰ノ誤リタルヨリ小作人ノ反感ヲ買フモノ
ニ、小作人ガ不慮ノ災害アルモ地主ハ知ラズ知ツテモ其ノ處置ニ不滿ヲ生ズルモノ
- 一、地主ノ脅威ニヨリ生ズルモノ
地主ノ地主權ヲ無暗ト振り過シタルニヨリ生ズルモノ
一、小作人ノ自己ノ立場及自己ヲ誤リタル見界ヨリ生ズルモノ
地主ハ資本家小作ハ勞動者タルノ誤リタル見界ニヨリ其ノ生産費ヨリ計算スル時ハ余リニ少キ處ヘ勞動爭議ノ反動ニヨリ生ズルモノ、其他小作人ハ地主ガ唯小作米ヲ余分ニ入ルモノ、様ニ考ヘ居ル誤リアリ、地主ハ公租公課組合費經營費事業費交際費其他土地ニ對スル負擔等アルヲ知ラザル爲メニ生ズルモノ又地主小作ハ一ノ雇傭關係ノ様ニ考ヘルモノヨリ生ズルモノ

- 一、地主ガ農業智識少キ爲メ又自己ノ所有地ノ狀況ヲ充分知ラザル爲メニ起ルモノ、地主ニシテ自己ノ所有地ノ狀態並ニ地勢地味小作人ノ慣習ヲ知ラザル爲メニ誤リタル施設ニヨリ生ズルコト、例バ商工業者ノ成金連ガ土地ヲ買ヒ急ニ地主トナリタル様ナ管理農業者ガ實際農業ノ智識ヲ知ラサルモノ從テ小作對地主カ温情ヲ失シ權利義務ノ主張ニヨリ生ズルモノ又地主小作ハ商工業ノ如ク其ノ時々ニ解決スルモノニアラズ永年ニ渡ルモノヲ其ノ場限リノ處置ニヨリ生ズルモノ
- 一、小作人ガ一般ノ經營資本ヲ地主ヨリ借受クル事能ハザル場合又ハ借受ケテモ其ノ方法ノ面白カラザル場合ニ於テ生ズルモノ
- 一、地主ノ團結力ノ弱キヲ見込マレタルガ原因トナスモノ
地主小作ニ對シ一定ノ見界ヲ有セズ宛モスレバ小作人ニ對シ處置ヲ協定シ置キナガラ其ノ裏ニ廻リ約束ヲ裏切ル者ノアル故地主ヲ輕視シ小作組合ヲ組織シ地主ニ對抗セバ當然勝チ得ルコトヲ知り小作人ノ意ヲ強カラシムルニヨリ生ズルモノ
- 一、種々ノ煽動ニ依リ起ルモノ
或ル地方ニ於テ政治家ヤ小學校教員ガ種々ノ方法ヲ以テ小作人ノ多數ノ好感ヲ買ハンガ爲メニ煽動シ居ル様ニ承ルガ之等ニ依テ起ルコト又出稼人即チ小作人自身及子弟ノ郡台地ニ出稼シ其收入ヲ計算シ小作ノ收入ニ比シ收入甚大ナル爲メ生ズルモノ及之等新シキ智識ノ所有者ヲ自任シ右ヲ煽動シ自ラ商

工業労働者ノ輩ノ労働爭議ヲ少シク知り誤リタルモノヨリ煽動セルルモノ

次ニ現状ニツキ述ベマス

大正九年度秋頃ヨリ生シタル小作組合ハ本縣ニ於テハ岐阜縣愛知縣其他各地方ノ様ニ爭議ノ激甚ナラザルハ喜ブベキモ今後地主ノ處置ニヨリテハ大ニ考慮セザルベカラズ大正十年秋ニ於テ或ル郡ノ一部ニテハ地主ノ一致團結ヲ約シ置キ乍ラ裏切りタル爲メニ起ラントシ又ハ地主ノ處置惡シキ爲メ小作人ノ反感ヲ求メ僅カノ入付米ヨリ生ジタルモノアリ其他毛見引ヲ歎願スルトカ選舉ニヨリテ組合役員ト地主トノ意志ノ疎隔ニヨリ亂暴ナル振舞ヲナス等アリタルニ聞クモ本市ニ於テハ幸地主小作トノ關係ハ極メテ圓滿ニシテ何等ノ憂フベキモノアルヲ認メズ

右ノ如ク偶々起ル之等ノモノガ今後如何ナル行動ニ出ルカ又昨年度ヨリ町村議員ノ選舉當時ニ於ケル右組合ノ方面ヨリ立チタルモノノ當選モ多ク今後ノ村政ガ如何ニ變動スルヤ懸念セラル、モノナリ要スルニ之等ノ革命的解決ハ各種ノ方面ヨリ充分ノ考察研究ヲ加ヘナケレバナラヌガ最後ノ結論ハ

- 一、小作入付米ノ改定ヲナスコトニヨル
- 一、小作人ヲシテ自作農タラシムルコトニヨル
- 一、小地主ヲシテ自作農タラシムルコトニヨル
- 一、地主ハ小作人ヲ保護獎勵スルニヨル

例ヘバ生活ノ救済改善ヲ施ストカ資金ノ融通ヲスルトカ慰安娛樂ノ道ヲ與ヘルトカ又小作人表彰地主小作ノ共同貯蓄其他農事改良等

斯クシテ地主小作問題ヲ解決スルモノト思ヒマス

二十

一、近時地主對小作人トノ問題ガ各地方ニ頻發シツ、アルハ誠ニ遺憾トスル處タリ此ノ問題タルヤ何レノ地方ニ於テモ大小ニ係ラズ從來アリタル事ニアリ然ルニ事益々激甚ナルハ畢竟經濟界ノ變遷ニ伴フ所以ニシテ不止得事情トス、佐渡郡ニアリテハ大地主ナク目下此ノ問題ノ大ナラザルヲ幸トス然シ早晚其ノ影響ヲ被ルコト今ヨリ覺悟セザルベカラズ依リテ之ヲ防止スルニハ大ニ研究ヲ要スベキ緊急ノモノトス以下我佐渡郡ノ状態ヲ記シ卑見ヲ加ヘン

- 一、佐渡郡ニアリテハ從來永小作等ハ僅少ニシテ社寺所有田ニ一部アルノミ
- 一、地主ト小作人トノ關係ハ極親密ニシテ親子ノ關係ヲ持テリ
- 一、地主ニ於テ耕作上雇人必要ノ場合ハ小作者ハ自家ノ仕事ヲ繰合セ地主ノ需ニ應ズ
- 一、小作人ハ地主ヨリ先ニ田植其他ヲナス事ナク地主ノ仕事ヲ手傳終リタル後自家ノモノヲナス
- 一、地主ハ小作人ヲ雇入ノ場合小作人ノ子供亦子守等迄當日ハ地主ノ家ニ連レ來リ食事ヲナサシム
- 一、小作人ハ附近ノ地主ニ對シテハ農繁期(田植稻蒔)等ニハ必ズ一二日宛繰合手傳ヲナスコト、シ地主ニ

アリテハ小作人ノ作業上差支少ナキ様勉メテ早メニ行フ
 一、地主ハ小作米取立ニハ期日ヲ定メ當日ハ小作人納米モ必ズ行フ事トシ地主ハ當日小作人ヲ招キ饗應ヲナシ其間相互ニ農事上ノ懇談ヲナス小作人ニシテ地主ニ遠ク又ハ當日都合上來會セザルニハ饗應料トシテ白米一掛ヲ與フ

以上ハ我佐渡郡従前ノ慣行ナルニ現時ハ左記ノ如ク變化セリ

一、地主ハ前記ノ如ク農繁期ニハ小作人繰合セ手傳ヲナス上耕作反別ヲ多クシ可成小作人ノ雇入ニ勉メタルモ經濟思想高マリタル爲メ地主ハ子供子守ヲ連レタルモノ可成避ケルニ至レリ然ルニ追々物價ノ騰貴ニ連レ地主ハ従前ノ如キ耕作ハ出來ザルニ至リ反ヘテ小作ニ托スル傾向多トス

一、地主ハ斯ル關係上耕作反別ヲ減ジタル爲メ小作田ヲ多クセルニヨル時ニ産米検査ノ事施ニ當リ地主對小作人ノ關係ニ變シ當時初メテ小作團ナルモノ各地ニ出來キ地主ニ獎勵金俵裝料又ハ小作米ノ引下交渉アリ

一、歐洲大戰亂後ハ益々物價暴騰ノ爲メ農業界ハ經濟伴ハズ從ツテ勞賃又騰貴セシニ依リ小作人ハ農業ヲ縮少シ他ニ轉業スルニ至ルモノ尠ナカラズ茲ニ勞力ノ不足ヲ來シ地主及小作者ハ耕作反別ヲ減ズルニ至ル依ツテ耕作田過剩ヲ來セリ

一、茲ニ耕作田過剩ノ爲メ田地位置ノ遠近ニ依リ小作米ノ相違ヲ大ナラシム小作田ハ遠キヨリ近キヲ求メ

遠キ田ハ小作者ナキニ依リ地主ハ小作者ノ云フガ儘納米ヲ減ズルノ不止得ニ至ル

一、耕地整理ノ結果ヨリ來ル小作關係耕地整理ノ結果耕作上ノ便多大ナルニモ依ラズ小作米ノ減額ヲ要求ス右ハ従前ノ者ニアリテハ耕作面積臺帳面ヨリ増歩アリ之レ一般のニマラズ區々別々ナリシガ然ルニ整理ノ結果ハ實測面積ニナリシ爲メ茲ニ地主小作者兩者ノ利害ヲ反スニ至ル

以上ハ今日迄ノ状態ニシテ目下大ナル紛争ノ起ラザルハ本郡ノ幸ヒタル處タリ

防 止 策

一、小作米ハ一般ヲ通ジ減額スル事難シ

小作米ニアリテハ従前ハ今日ニ比シ收量ヲ少ナキ當時ニ於テ先ニ協定シ數十年永續シ來リシモノナリ

其後各地ニ於テ土地改善施肥等ニ指導獎勵ヲナシ斯業ヲ發達又昔日ノ比ニアラズ一般ニ增收ヲナシ居ルコト明カナルニモ係カラズ支收償ハザルトハ要スルニ小作者生活状態ノ向上ト物價暴騰トニ依リ獨リ小作者ノ影響ノミナラズ地主ニ於テモ同様以上ノ損失アルモノトス

一、勞力ノ分配ニ勉ムルコト

何レモ農業者ハ薄利ナルヲ以テ轉業スルモノ多ク爲メニ勞力ニ不足ヲ來シ耕作田過剩トナリ地主ハ迷惑一方ナラズ故ニ共同作業ニ待ツノ外ナシト信ズ故ニ各地方ニ於テ一部分丈ク宛ノ共同作業ヲ行フ時ハ地主小作其實收ヲ明ニシテ相互ノ親善ヲ計ル事ヲ得ルニアリ

一、金融機關ヲ計ル事

産業組合ヲ發展セシメ肥料購入農具類ノ購入等凡テ便宜ヲ與フル様勉ムベキナリ

二十一

小作爭議ノ根本的解決

近來各縣各地ニ渡リテ小作爭議ノ頻出ヲ見ルニ到ツタ事ハ甚ダ迷憾ナ事テ有ルガ思想ノ變遷ト共ニ止ムヲ得ザル問題デ有ルト考ヘル

一、地主對小作問題ノ起リシ根底ヲ第一ニ考ヘテ見ルト大体ニ於テ二ツニ分ケル事ガ出來ルト思フ

第一ハ思想問題デアル維新前ハ農民ハ知ラシムル可カラズ主義デ絶對ニ長者ニ對シテハ服從セシメ殆ド機械ノ奴隷トナツテ來タ者デアル然シ一方カラ考ヘテ見ルト此レガ健全ナル農村ヲ建設スル唯一ノ美點デアリ又熱烈ナル愛土心即チ愛國心ノ基礎トナツテ來タノデアル

然ルニ思想ノ變遷ハ長者ニ對スル服從心ガ漸次薄ラギ行キ人權平等主義ガ歐洲戰亂後殊ニ各人ノ口ヨリ唱フル様ニナツテ來タ

第二ハ利益分配問題デアル昔ノ農民ハ自給自足主義デアツテ食ハ腹ヲ滿スヲ以テ足レリトナシ衣ハ寒ヲ防グヲ以テ充分ナリトシテ來タ否維新前等ハ普通ノ百姓ハ三間張以上ノ家ヲ造ル事ガ出來ナイトカ革緒ノ下駄ヲ履ク事ガナラヌ等ト云フ時代モアツテ壓勢的ニ自給自足デ満足セシメラレテ來タノデアル然ルニ現代

ハ地主モ小作モ今迄トハ事變ツテ時勢ニ適合シタル相當ノ身成リヲナシ交際ニモ相當ノ經費ヲ要スル様ニナツテ來タノデ從ツテ此等生活ニ必要丈クノ報酬ガ無クテハ迎モ暮ラス事ガ出來ヌ様ニナツテ來タ如斯農民生活ノ不安ハ小作人許リガ生存權ノ侵害ヲ受テ居ルノデハナイ、地主モ自作農モ亦悲惨ナル生活難ニ遭遇シテ居ルノデアル併シ其受クル處ノ程度ハ小作農ニ最モ大ナルモノト考ヘル故ニ利益分配問題ニ就テ爭議ノ起ル原因ハ爰ニ有ルト想フ要スルニ相當ノ施設方法ニヨリテ之レガ未然ニ防グ事ガ最モ肝要ト考ヘル

解決策

一、大地主ハ技術員ヲ設置ス可シ

本縣殊ニ蒲原地方ニハ數十萬圓ノ地價ヲ有シ二、三ヶ村全体ノ耕地ヲ所有スルニ等シキ大地主アリ如斯大地主ハ主人ハ殆ド所謂且那樣ニシテ直接小作者ニ當ル者ハ番頭ヲ以テナサシム其ノ番頭様ハ主人ノ代理人ナレバ此亦主人然トシテ小作ニ應待スルニヨリ眞ニ小作者ハ心許セヌ處アリテ御互ニ親交ノ出來ザルハ當然ノ事ナリ然ルニ大地主ニ於テハ番頭ニ代ラシムルニ農業指導技術員ヲ以テナサンカ常ニ小作者ヲ訪問スルニ番頭ノ收穫期ニ立見ノ爲メ「インマ」的ニ巡ル其レト異ナリ常ニ小作者ヲ集メ或ハ爐邊農談會ヲ開キ或ハ世間話ヲナシ小作者ノ收入増加ノ相談役ナレバ農業先生ニ對シテハ親ノ如ク兄ノ如ク親密ニ交際シ得ルヲ以テ立見ニ際シテモ技術者ハ眞ニ小作者ノ立場ヨリ將亦地主ノ立場ヨリ公平ニ和氣霽々ノ間ニ立見モ取リ極メ其間何等ノ惡感情ナク益々米作改良增收ノ途ヲ計リ以テ地主小作間ノ親善ノ度ヲ

高ムルヤ明ラカナル事ナリ

二、稻作ノ增收ヲ計ル事

文明ハ消費ヲ増大ナラシメ爲メニ小作者ハ生活困難トナツテ來タ、此レガ救済トシテ第一收入増加ヲ計ラナケレバナラス、農業労働者ガ普通労働者ノ如キ賃銀ニ付ケバ何モ文句ハ無イノデ有ルガ現在デハ迎モ普通労働者ト比較ガナラヌノデ有ル、現在本縣ニ於ケル小作料ハ最低七、八斗最高一石五斗アルガ普通一石二斗位アル處ガ一石二斗ノ小作料デ平均二石四斗位ヲ收穫スル農家ハ先ヅ中農ト云フテヨロシイ、今之レヲ平均三石ニ增收セシムル事ハ難事デナイガ三石ニ增收シタ物トシテ労働賃銀ヲ比較シテ見ルト

收 入	支 出			計	差引純利金	一反歩二十六 人一日賃金
	石三圓ニ換 算スル時ハ	農具ノ 損料	堆肥ノ外 金肥代反當			
一石 二、四〇〇	七、一〇〇	三、〇〇〇	一〇、〇〇〇	五、一、六〇〇	二、六、六〇〇	一、〇三三
三、〇〇〇	九、九〇〇	三、〇〇〇	一五、〇〇〇	五、七、六〇〇	四、一、四〇〇	一、五九二
差引増加一日 金五拾六錢九厘						
一反歩利益増加 拾四圓七拾九錢四厘						

以上ノ通り增收ニ依リテ受クル處ノ利益ハ地主ニアリテハ非常ナル惡作ニ有ラザル限リ小作米ノ引ケヲ爲スノ必要ナク加フルニ小作者ハ農ヲ捨テ、他業ニ轉ズル者少ナキニ至ルノミカ他ヨリ農ニ轉ズル者亦無キニ有ラズ故ニ耕作者ノ不足ヲ告グル事ヲ防ギ得ベク小作者ニアリテハ一反歩ニ付キ從前ヨリ拾四圓七拾九錢四厘例バ一町歩ノ耕作者ハ百四拾七圓九拾四錢ノ收入増加トナリ收入ノ増加ハ小作者ヲシテ益々斯業ニ熱心ナラシメ延イテ土地ヲ愛シ地主ト親交ノ度ヲ重サスルニ至ル增收ヲ計ル方法ハ系統農會ノ活動ニヨリ適當ノ處置ナス可キ事ナリ

三、小作料ノ改善ヲナス事

現今ノ小作料ハ各地、各村共殆ド混沌トシテ何ヲ標準トシテ決定セルヤ了解ニ苦シム事ガ少ナクナイ一等地必ズシモ比較的高キニ有ラズ十等地必ズシモ入付米底キニアラズ等級等シキ故ニ入付米等シキト云フヲ得ズ之ハ賣買ニ當リ高價ニ賣ラン爲メ事更ニ入付米ヲ高メテ轉賣セシモアリ或ハ河線改修ノ爲メ耕地整理ノ爲メ其他農戶數ノ減少セシ爲メ一チ一チ數イ來ラバ其原因決シテ少ナシトセズ故ニ常習的ニ立見引米ヲ爲ス地方アリ此等ノ地方ニ於テ不作ノ度稍々高カランカ地主ハ比較的上作ノ處ヲ平均標準ニ取ラントシ小作者ハ比較的下作ノ所ヲ平均標準ニナサントス此ノ間論議ノ生ズルハ當然ナル事アル其ノ爭論ガ昔ハ絶對ニ小作ハ地主ニ服從シ來リシモ思想ノ變遷ト共ニ地主モ人ナレバ吾モ人ナリ主義デ爭論ノ度ヲ高メ小作爭議ノ原因トナルノデ有ル一郡一ヶ所ノ爭議ハ全縣或ハ全國ニ新聞紙其他ニヨリテ傳ヘ

ラレ以テ他ノ優良ナル小作ニマデ漸次悪化セシメントス故ニ一日モ早ク常習的立見引米ノ地方ハ速ニ地主、小作協議ノ上入付米ノ改善ヲ斷行ス可キハ目下ノ急務タルヲ信ズ

四、小作法ノ制定ヲ爲ス可キ事

小作法ノ制定ニヨリテ地主小作ノ主張シ得ベキ權利並ニ義務ヲ法律デ「キチン」ト定メ地主ハ之レマデノ權利ガアル小作ハ之レマデ主張シ得ルト云フ具合ニ其ノ境界確然タル時ハ小作爭議ヲ法律ニヨリテ捉迫スル事ガ出來ル左様ニナルト地主トシテモ或ル程度マデ我儘ヲ云フ事ガ成ラヌ然シテ多小教育アル小作者ナラバ法律ニ反抗シテマデ無法ノ舉ニ出ズル事ナク加フルニ地主小作間ニ中介シ不勞利得ヲ貪ボル者ヲ絶ツコトヲ得ベシ又土地賣買ニ當リテハ小作者ノ先取權モ認メ自作者ヲ増加セシムル等此ノ力ニヨリテ小作爭議ノ防備策トシテ偉大ノ効果アル可キ事ハ當然デアル以上ニヨリテ小作爭議ノ解決ヲナシ得ルモノト信ズ

第二編 本縣下地主現在施設

本縣地主ノ現在施設

(大正十年四月現在)

小作人保護事業

(一) 生活ノ救濟

イ、扶持米ノ貸與

破堤其他ノ事變ニヨリ著シク生活ノ困難ヲ蒙ムリシ場合ニ於テハ其事情ヲ詳細ニ調査シ無利息ニテ米穀ヲ貸與シ年賦ヲ以テ返納セシム

ロ、小作米ノ延納

天候其他ノ事情ニ依リ正規ノ期日迄ニ小作米ヲ納付シ難キ者アル時ハ其ノ情狀ヲ酌量シテ納付ノ延期ヲ許ス

ハ、災害救助

水火ノ災害ニ罹リ困窮セル小作人ニ對シ小作料ノ免引或ハ見舞金ヲ贈リ又ハ小作人ノ家族ニ於テ病メル者アル時ハ特ニ之レヲ見舞フ

ニ、家屋ノ貸與

小作者ニシテ貧困甚シク爲メニ家屋ノ建設困難ナル者アル時ハ家屋及建築材料ヲ貸與又ハ給與ス

(二) 取引ノ改善

イ、信用組合ノ設立

信用組合ノ設立ヲ援助シ或ハ私設ノ信用組合ヲ設立シ貯蓄ノ便ヲ計リ肥料資金ノ貸付ヲナス

ロ、肥料ノ共同購入

信用組合ニ依頼シ大豆粕、過磷酸石灰、蒸製骨粉等ノ各種肥料ノ共同購入ヲナス此ノ外種子、農業用牛馬ノ共同購入ノ斡旋ヲナシツ、在リ

(三) 資金ノ融通

イ、農業資金ノ貸與

小作者ガ肥料、種子、農具、農馬農牛等ノ購入ヲナスニ當リ之レガ資金ニ不足スル時ハ低利又ハ無利子ニテ資金ノ融通ヲ計ル

(四) 自作農ノ創設

小作人ニシテ土地購入ノ爲メ資金ノ必要アル時ハ低利ニテ融通ヲナス

(五) 智識ノ啓發

イ、講話會ノ開催

主ニ農閑期ニ於テ技術員ヲシテ巡回講話ヲナサシメ小作者ノ智識ノ啓發ヲ計ル、尙出席ヲ獎勵センガ爲メニ出席者ニハ抽籤ヲ以テ五錢乃至五拾錢ノ獎勵金ヲ給スル者在リ

ロ、印刷物ノ配布

講話會ノ際特ニ必要ト認ムル事ヲ印刷配布シ尙必要アル時ハ時々是レヲ配布ス

ハ、小作人ノ農業視察

支配人及優良小作人ノ智識及技術ノ向上ヲ計ランガ爲メニ農業視察旅行ヲナサシメ旅費ヲ支給ス

ニ、小作人子弟ニ學資金給與

小作人ノ子弟中學カ優等ナル者アル時ハ學資金ヲ給與シ農林業ノ學識ヲ授ケ農林業ノ發達ヲ圖ル

ホ、農事研究會開催

農業技術員ヲ招聘シテ農事研究會ヲ開催シ農業智識ヲ普及ヲ圖ル

ヘ、實業補習學校援助

實業補習學校生徒ニシテ成績並出席優良ナル者ニ金品ヲ授與ス

ト、巡回文庫ノ設備

巡回文庫ヲ設置シ一般農業者ノ智識向上或ハ精神修養ヲ圖ル

(六) 慰安ノ施設

イ、小作人慰勞宴ノ開催

毎年米ノ收穫ヲ終リタル後或ハ小作米皆納後、小作人ト共ニ慰勞宴ヲ開催シ小作人勞ヲ犒フ

ロ、弔慰金品ノ贈與

小作人ノ家族ニ於テ不幸アリタル場合ハ相當金品ヲ贈リ之レヲ慰ム

(七) 娛樂ノ設備

イ、各種娛樂具ノ備付

蓄音機、謠曲、圍碁、幻燈機等ヲ備付ケ一般農村、娛樂ノ完備ヲ圖ル

ロ、庭園ノ解放

庭園ヲ解放シ公衆ノ娛樂ニ供ス

(八) 風紀ノ改善

イ、模範小作人ノ選定

小作人中、模範タルベキ者ヲ選ビ各小作地ノ指導獎勵ヲ援助セシム

ロ、風紀改善規約ノ申合

風紀改善ノ目的ヲ以テ小作人申合規約ヲ定メ相互之レヲ履行シ又法話道話ヲ開キ精神修養ヲナサシム費用ハ主トシテ地主之レヲ負担ス

(九) 信仰心ノ滋養

イ、神社寺院ノ寄附

神社寺院ノ建立修繕、祭典或ハ法要ノ際ハ寄附ヲナス

ロ、布教師ノ招聘

布教師ヲ招聘シ講演會ヲ開キ信仰心ヲ涵養シ併テ精神修養ヲ圖ル

ハ、婦人法話會ノ設立

ニ、青年佛教會ノ設立

小作人獎勵事業

一、小作人表彰

小作者中善行或ハ篤行ノ名アル者ハ世話人ノ申告ト技術員ノ實查トヲ照合シ事務所ニ於テ協議ノ上之レヲ表彰ス

二、貯蓄ノ獎勵

農業ニ必要ナル資金ノ融通ヲナシ各自經濟ノ發達ヲ計リ且ツ勤儉貯蓄ノ氣風ヲ養成センガ爲メ貯金組合ヲ組織シ又ハ年貢米ノ若干ヲ以テ地主小作共同ニ貯蓄ヲナス

三、農事ノ獎勵

生産検査優良米納付者賞與金給與、稻乾燥施設、耕地整理ノ施行、土地改良ノ實行、稻作增收競技會、技術員設置、優良種子ノ配布、採種田設置
水田ノ巡視、立毛品評會、副業品々評會、共合選種ノ實行、共同苗代ノ實行、深耕ノ獎勵、牛馬競黎會
模範農場ノ設置、肥料無代配布、堆肥獎勵
堆肥舎建設資金ノ融通、排水機ノ設置、試驗田設置、正條植ノ獎勵、驅蟲油無償配布、農事督勵委員設置、家庭果樹園ノ設置

四、副業獎勵

桑園ノ改植、養蠶組合ノ設立、園藝作物栽培獎勵、養豚養鶏組合獎勵

五、各種團體ノ援助

直接間接ニ村農會、地主會、小作人會ヲ援助シ併テ青年ノ指導ヲナス

六、其 他

小作人入營者餞別贈與、天氣豫報標設置、梵鐘ノ設置

第三編 本縣農事統計

本縣農事統計

一、總戶數及專業並兼業各農家戶數表

年 別	總 戶 數	專 業 農 家	兼 業 農 家	農 家 合 計
明治三十八年	二九三、三四八	一九九、三五三	三九、七九〇	一九九、一四三
明治三十九年	二八七、五九一	一九七、五七七	三八、九六七	一九六、五〇四
明治四十年	二七六、四〇五	一九七、七二一	四一、六八四	一九六、八〇五
明治四十一年	二九二、九七五	一九五、四三六	四二、二四四	一九六、六八〇
明治四十二年	二九五、七二一	一九〇、九九四	四一、七六九	一九三、七六三
明治四十三年	二九七、六七〇	一九二、七五三	四四、七四五	一九六、四九八
明治四十四年	二九九、四八九	一九二、一七八	四五、一九九	一九六、三七六
明治四十五年	三〇二、四七六	一九三、三三二	四六、一四七	一九八、四七九
大正二年	三〇三、三七五	一九一、九八八	四六、四三三	一九八、四二〇
大正三年	三〇四、六三三	一九一、〇七六	四六、九七九	一九八、〇五五
大正四年	三〇六、七七四	一九五、三八三	四三、六〇八	一九九、九九一
大正五年	三〇七、二四七	一九四、四一四	四〇、七六八	一九九、一八三
大正六年	三〇八、一四四	一九八、八七九	三九、八六八	一九八、七四七
大正七年	三〇六、〇五五	一九三、六六四	四二、九五五	一九六、六一九

年	自作農家	小作農家	自作兼小作家	合計
大正八年	三〇九、五四五	一五五、八三八	四二、一六四	一九六、〇〇二
大正九年	三一、四五三	一七、八一	四〇、四一六	一九六、二七七
大正十年	三三、四三四	一九九、三四三	三九、九五二	一九九、二九四

一、自作小作及自作兼小作農家戸數表

年	自作農家	小作農家	自作兼小作家	合計
明治四十一年	四六、〇九九	六四、二八六	八六、二九五	一九六、六八〇
明治四十二年	四六、九七五	六、六八四	八五、一〇四	一九三、七六三
明治四十三年	四六、五八二	六二、九九六	八五、九二〇	一九六、四九八
明治四十四年	四五、六五七	六四、七七五	八五、九四四	一九六、三七六
明治四十五年	四六、八七〇	六六、二二二	八五、四八八	一九八、四七九
大正二年	四六、八四六	六六、一七九	八五、三九五	一九八、四二〇
大正三年	四六、七七二	六六、三二二	八四、九七二	一九八、〇五五
大正四年	四六、三七三	六五、九五三	八六、六六五	一九八、九九二
大正五年	四五、五九四	六六、五四八	八七、〇四〇	一九八、七八二
大正六年	四五、〇五六	六五、五九九	八八、一三二	一九八、七四七
大正七年	四四、八二七	六六、一六五	八五、六三七	一九六、六一九

年	五反未満	五反以上	一町以上	二町以上	三町以上	五町以上	合計
大正八年	四五、六九五	五七、七三三	五六、四六六	三三、一八〇	六、五八三	一、七五〇	一九八、〇〇二
大正九年	四五、七五五	五八、九〇二	五五、二〇七	二二、三三四	五、三二五	一、二九八	一九八、二七七
大正十年	四六、五二六	六〇、五七九	五五、六〇五	二二、九七六	五、六二八	一、二二九	一九八、四九八

三、耕作スル田畑ノ廣狹ニヨリ區別シタル農家戸數

年	五反未満	五反以上	一町以上	二町以上	三町以上	五町以上	合計
明治四十一年	四九、九七九	五七、七三三	五六、四六六	三三、一八〇	六、五八三	一、七五〇	一九八、六八〇
明治四十二年	五二、七〇七	五八、九〇二	五五、二〇七	二二、三三四	五、三二五	一、二九八	一九八、七六三
明治四十三年	五一、五八一	六〇、五七九	五五、六〇五	二二、九七六	五、六二八	一、二二九	一九八、四九八
明治四十四年	四九、四一九	六一、七七〇	五六、二二八	二三、三八	五、七六四	九七七	一九八、三七六
明治四十五年	四九、二四〇	六一、九四二	五六、四三〇	二三、二五二	五、七二六	八九九	一九八、四七九
大正二年	四八、九二六	六一、九五三	五六、五八八	二三、五〇三	五、五四五	八九五	一九八、四一〇
大正三年	四九、九八四	六一、四五四	五六、二九七	二三、〇七四	五、四〇九	八三七	一九八、〇五五
大正四年	五一、一四八	六一、二四九	五六、五五七	二二、〇二六	五、〇五八	九三三	一九八、九八一
大正五年	五一、六四二	六〇、九九〇	五六、〇四四	二二、五二五	五、一〇九	八七三	一九八、一八二
大正六年	五一、四九四	六〇、七二七	五六、八七〇	二二、三九一	五、三二五	九四〇	一九八、七四七
大正七年	五三、六〇二	五九、一九九	五五、三三〇	二二、二二〇	五、六九三	六七五	一九六、六一九

年	五反未満	五反以上	一町以上	三町以上	五町以上	十町以上	五十町以上	合
大正八年	五、〇八五	五九、四八七	五七、一三四	三三、五九三	五、八七五	八二八	一九八、〇〇一	
大正九年	五、一九九	六〇、九二四	五六、八二三	三三、二〇九	五、三四四	七四九	一九八、三三七	
大正十年	五、三〇二	六一、三七七	五八、一七九	三三、二六七	五、四四〇	七七九	一九九、二九四	

七八

四、田畑所有ノ廣狹ニ依リ區別シタル農家戸數表

年	五反未満	五反以上	一町以上	三町以上	五町以上	十町以上	五十町以上	合
明治四十一年	七三、六〇九	三八、九六七	三四、八〇六	一一、三二八	五、四二〇	二、一四九	二七四	一六五、五〇八
明治四十二年	七三、五三三	三七、八七八	三〇、七二六	一〇、一四五	四、七九〇	二、一三一	三〇一	一五九、五三四
明治四十三年	七九、六九九	三九、一〇一	三、八一九	一〇、二七三	四、一三六	一、九七七	一三七	一六八、一八二
明治四十四年	八〇、七三三	三九、七〇六	三三、二八五	一〇、三〇九	四、六五八	一、九四四	二四八	一六九、八五三
明治四十五年	八二、〇四一	三九、五八五	三四、八三〇	一一、一九三	五、〇四七	二、三二一	二五三	一七五、〇七〇
大正二年	八一、一三三	三九、〇二四	三四、九七〇	一一、四三〇	四、九七〇	二、三二一	二五〇	一七四、九九七
大正三年	八一、五三三	三九、三八八	三四、五六一	一〇、六〇七	四、七四四	二、一八九	二五九	一七三、二〇一
大正四年	八八、二二三	三九、二〇七	三四、二六七	九、八八四	四、六四二	二、一九一	二七七	一七七、六八一
大正五年	九二、四八一	三八、二三〇	三三、三九〇	九、四四三	四、四八五	二、三四	二七〇	一八一、五三三
大正六年	九二、八三〇	三七、三〇四	三三、三五〇	九、四〇三	四、五八二	二、二五三	二七五	一七九、九九七
大正七年	九六、〇二四	三五、八八九	三三、四九五	九、四三〇	四、四〇〇	二、一〇一	二六三	一八一、六〇三

年	自作	小作	合			
大正八年	九六、七〇七	三三、三八七	一二、一四五	二七三	一八一、三三三	
大正九年	九六、二〇六	三三、三七八	三三、三三六	九、二六四	一八一、八七	
大正十年	九六、〇〇三	三三、二三五	三三、八九六	八、九一九	二七五	一八一、八九〇

五、自作田畑小作田畑ノ反別表

年	自作	小作	合	計
明治三十八年	六八、六九九	九、七四三	九六、三〇三	一六四、九三三
明治三十九年	五〇、二七五	四、五四三	三四、一三六	八四、四二一
明治四十年	七〇、二九三	四、三五八	九五、二九三	一六五、五八七
明治四十一年	四四、六九二	三、一八八	四六、〇五〇	七六、八八一
明治四十二年	七一、〇一八	九六、〇五〇	三三、三七〇	一六七、〇六八
明治四十三年	四四、四七九	三三、三〇八	九六、一六六	七九、三八八
明治四十四年	七一、九七二	三五、〇三二	九六、一三二	七九、三八八
明治四十五年	四四、三五六	九六、一三一	三三、五八四	一六八、〇八六
明治四十六年	七一、九五四	三三、五八四	三三、五八四	七九、二四一
明治四十七年	四四、六五七	九七、〇〇七	三三、八二五	一六八、九二一
明治四十八年	七、九〇四	三三、八二五	三三、八二五	七六、四七八

七九

大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	明治四十五年	明治四十四年
畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田
四一、四一六、六	六八、三六、六	四一、三六六、一	六八、九三、四	四一、八〇五、四	六九、四五一、四	四二、四九〇、一	六九、七九七、〇	四二、四九〇、一
三三、三三一、〇	一〇三、七七一、〇	三三、八八二、八	一〇三、七七〇、〇	三三、五五六、二	一〇二、六六六、七	三三、三三一、〇	四二、四三三、六	四二、四三三、六
一〇四、〇二二、一	一〇四、五九七、二	一〇四、八八二、八	一〇四、五九七、二	一〇四、五九七、二	一〇四、五九七、二	一〇四、〇二二、一	四二、四三三、六	四二、四三三、六
九七、七三三、七	三三、二八四、七	九七、七三三、七	三三、二八四、七	三三、二八四、七	三三、二八四、七	三三、二八四、七	七二、〇四八、二	七二、〇四八、二
三二、八四一、七	一〇一、一〇五、一	三二、八四一、七	一〇一、一〇五、一	一〇一、一〇五、一	一〇一、一〇五、一	三二、八四一、七	四三、二九六、一	四三、二九六、一
七二、二四一、三	三三、二九八、〇	七二、二四一、三	三三、二九八、〇	三三、二九八、〇	三三、二九八、〇	七二、二四一、三	七二、一五九、五	七二、一五九、五
四三、〇四〇、二	一〇〇、五九九、四	四三、〇四〇、二	一〇〇、五九九、四	一〇〇、五九九、四	一〇〇、五九九、四	四三、〇四〇、二	四三、二九六、一	四三、二九六、一
七〇、一六三、九	三三、五二一、六	七〇、一六三、九	三三、五二一、六	三三、五二一、六	三三、五二一、六	七〇、一六三、九	四三、二九六、一	四三、二九六、一
四三、五六一、五	一〇〇、二三五、三	四三、五六一、五	一〇〇、二三五、三	一〇〇、二三五、三	一〇〇、二三五、三	四三、五六一、五	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七〇、一六三、九	九七、四二一、〇	七〇、一六三、九	九七、四二一、〇	九七、四二一、〇	九七、四二一、〇	七〇、一六三、九	四三、二九六、一	四三、二九六、一
一六九、五七四、九	七六、〇七四、一	一六九、五七四、九	七六、〇七四、一	七六、〇七四、一	七六、〇七四、一	一六九、五七四、九	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七六、〇七四、一	一七二、二九四、八	七六、〇七四、一	一七二、二九四、八	一七二、二九四、八	一七二、二九四、八	七六、〇七四、一	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七二、二九四、八	七六、五九四、一	一七二、二九四、八	七六、五九四、一	七六、五九四、一	七六、五九四、一	一七二、二九四、八	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七六、五九四、一	一七一、八一〇、七	七六、五九四、一	一七一、八一〇、七	一七一、八一〇、七	一七一、八一〇、七	七六、五九四、一	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七一、八一〇、七	七六、四二二、三	一七一、八一〇、七	七六、四二二、三	七六、四二二、三	七六、四二二、三	一七一、八一〇、七	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七六、四二二、三	一六九、八二二、九	七六、四二二、三	一六九、八二二、九	一六九、八二二、九	一六九、八二二、九	七六、四二二、三	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一六九、八二二、九	七六、一六〇、一	一六九、八二二、九	七六、一六〇、一	七六、一六〇、一	七六、一六〇、一	一六九、八二二、九	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七六、一六〇、一	一七〇、九〇二、一	七六、一六〇、一	一七〇、九〇二、一	一七〇、九〇二、一	一七〇、九〇二、一	七六、一六〇、一	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七〇、九〇二、一	七五、七〇九、四	一七〇、九〇二、一	七五、七〇九、四	七五、七〇九、四	七五、七〇九、四	一七〇、九〇二、一	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七五、七〇九、四	一七一、七六六、一	七五、七〇九、四	一七一、七六六、一	一七一、七六六、一	一七一、七六六、一	七五、七〇九、四	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七一、七六六、一	七五、七五四、六	一七一、七六六、一	七五、七五四、六	七五、七五四、六	七五、七五四、六	一七一、七六六、一	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七五、七五四、六	一七二、〇九一、一	七五、七五四、六	一七二、〇九一、一	一七二、〇九一、一	一七二、〇九一、一	七五、七五四、六	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七二、〇九一、一	七六、三七一、六	一七二、〇九一、一	七六、三七一、六	七六、三七一、六	七六、三七一、六	一七二、〇九一、一	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七六、三七一、六	一七二、六三〇、四	七六、三七一、六	一七二、六三〇、四	一七二、六三〇、四	一七二、六三〇、四	七六、三七一、六	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七二、六三〇、四	七五、二四八、九	一七二、六三〇、四	七五、二四八、九	七五、二四八、九	七五、二四八、九	一七二、六三〇、四	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七五、二四八、九	一七二、九三三、八	七五、二四八、九	一七二、九三三、八	一七二、九三三、八	一七二、九三三、八	七五、二四八、九	七二、一五九、五	七二、一五九、五
一七二、九三三、八	七五、四八八、七	一七二、九三三、八	七五、四八八、七	七五、四八八、七	七五、四八八、七	一七二、九三三、八	七二、一五九、五	七二、一五九、五
七五、四八八、七		七五、四八八、七		七五、四八八、七		七五、四八八、七		

大正十年	大正九年
畑田	畑田
四一、〇六六、八	六九、三六四、六
三三、六二七、五	四〇、六九一、九
一〇四、九一五、九	六九、五一九、一
一〇四、六二七、五	四一、〇六六、八
一〇三、八六七、五	
三三、三四〇、六	
一〇四、九一五、九	
一〇四、六二七、五	
一七二、三三三、一	
七四、〇三三、五	
一七四、四三三、〇	
七四、六八四、三	

大正十一年五月二十日印刷
大正十一年五月廿七日發行

(非賣品)

發行者 新潟縣農會
代表者 藍澤誠一

印刷人 佐藤富五郎
新潟市學校町三番町

印刷所 旭櫻者活版部
新潟市寄居町

發行所 新潟縣農會

新潟縣廳構内
電話千〇六十五番

14 2/

507

終